

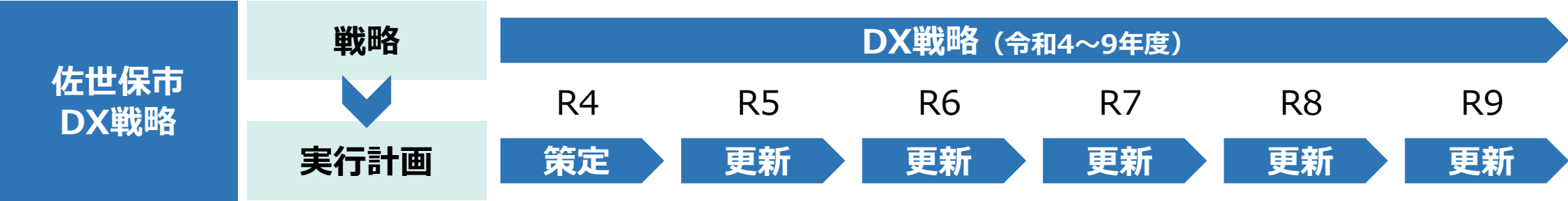
佐世保市DX戦略実行計画 (令和5年度実績)

令和6年9月
佐世保市

実行計画の概要

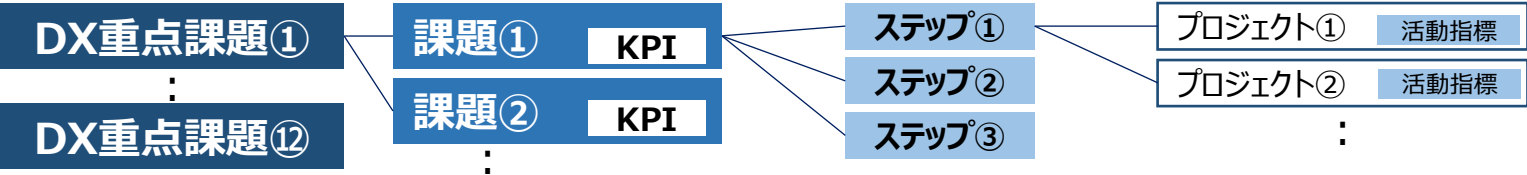
(1) 実行計画の位置付け

本計画は、「佐世保市DX戦略」（以下、「戦略」という）の下位計画として位置付け、戦略に定める12のDX重点課題を解決するための具体的な施策を取りまとめたものです。戦略の期間中、各施策の進捗状況や、技術革新等、環境の変化を踏まえた柔軟かつ的確な事業展開を実現することを目的として、令和9年度まで毎年度更新して策定します。



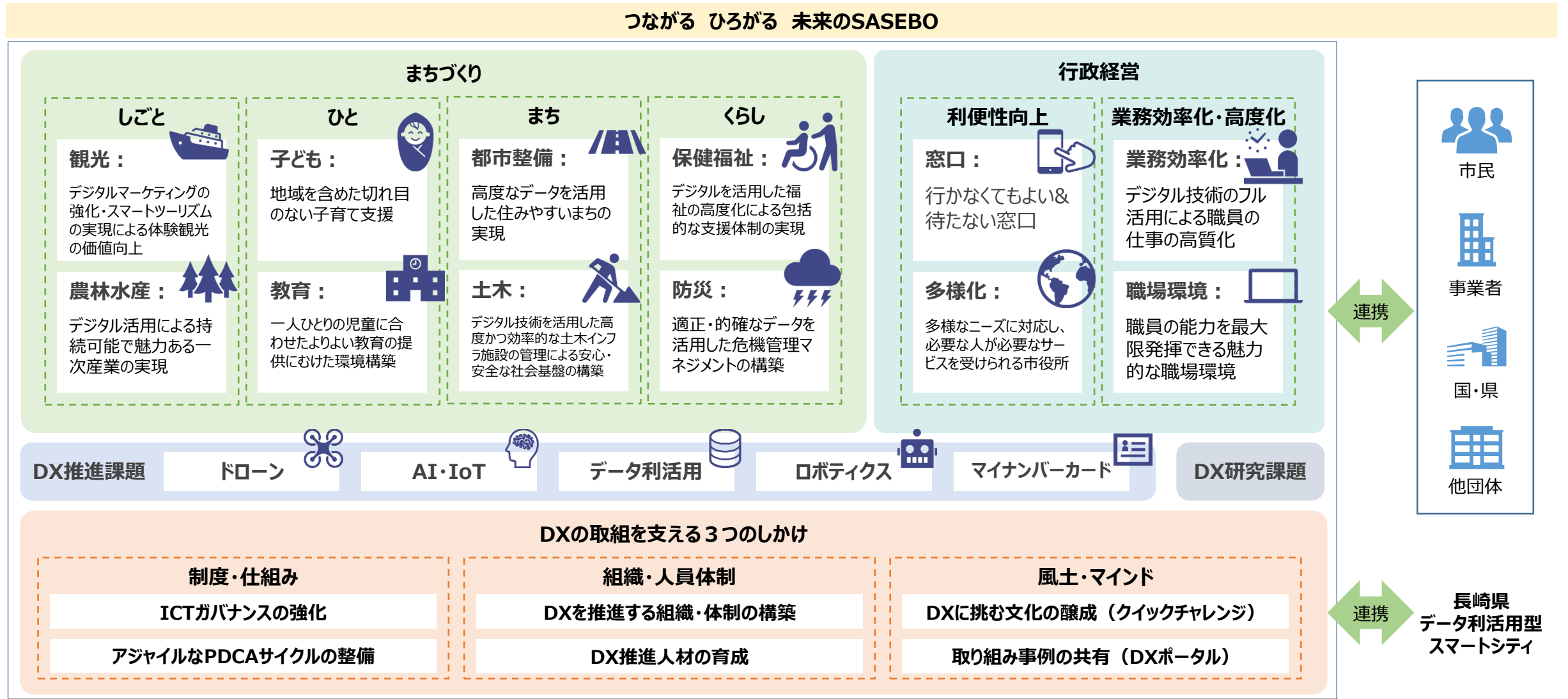
(2) DX戦略の進捗管理

- 本計画では、DX重点課題（戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題）ごとに2～3つの「課題」を設け、DX重点課題の達成状況を測るため、それぞれの課題ごとにKPIを設定します。
- また、それぞれの課題を解決するため、「ステップ」（課題を1～3つの段階に分割したもの）を設け、各ステップに1つ以上の「プロジェクト」（ステップの達成のために導入するシステム等）を立て、ステップの達成状況を測るため、それぞれのプロジェクトごとに「活動指標」を設定します。
- これら課題のKPIとプロジェクトの活動指標の達成状況により進捗を管理し、戦略を推進していきます。



DX戦略の全体像

国・県の方針や最新の技術動向、本市の政策課題や地域課題、行政課題等の現状を踏まえ、市の成長や市民サービスの向上の実現に向けて、戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題を設定しました。



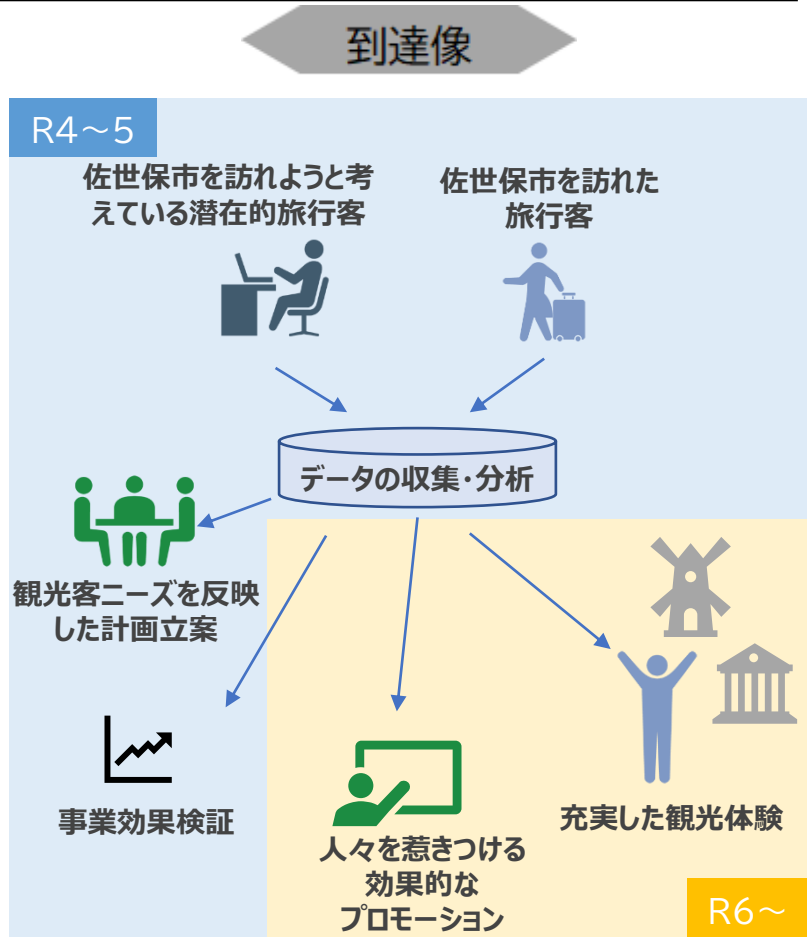
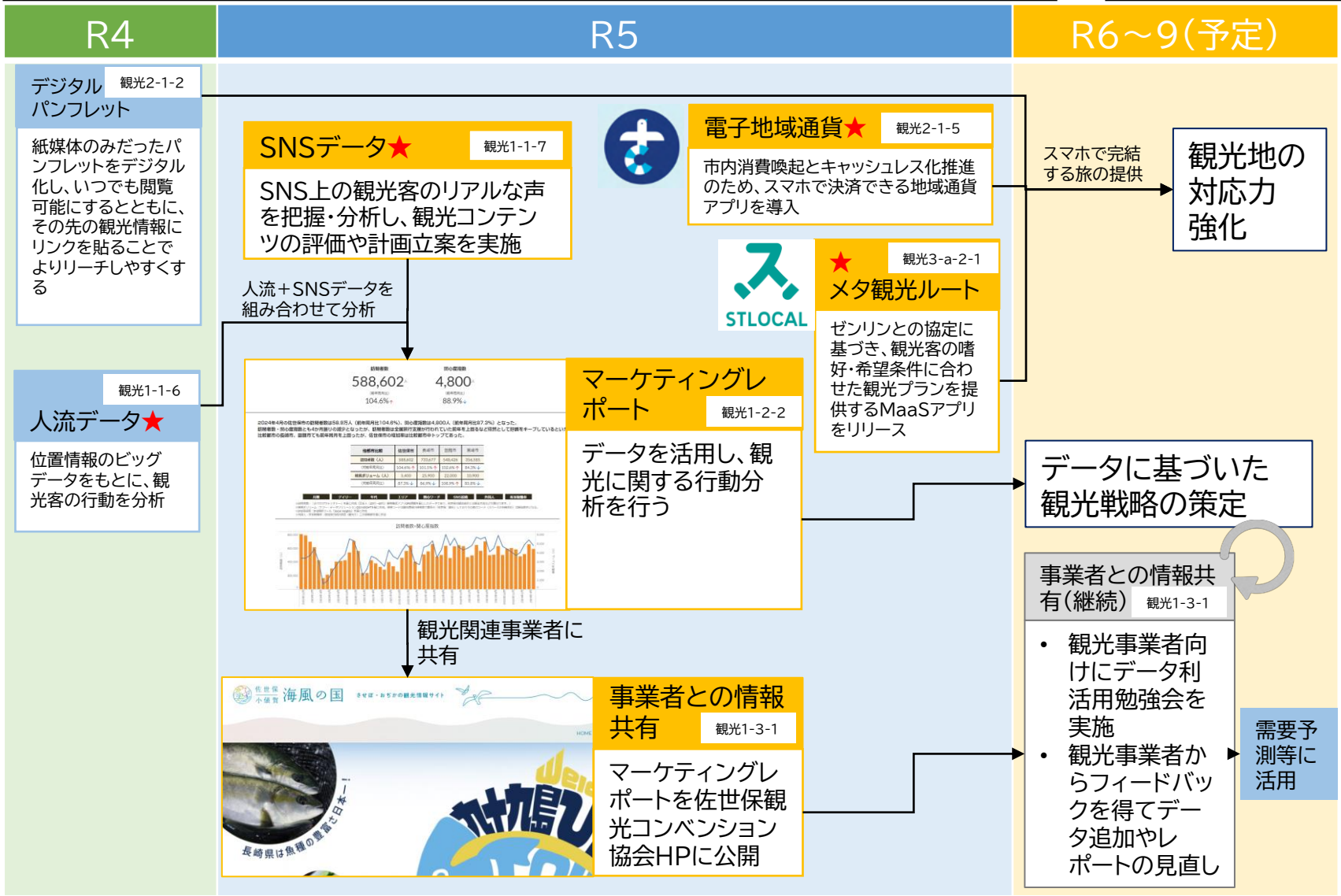
【観光分野】 デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

《進捗概要》

- データ分析による需要予測などを実施し、KPI(データを活用した事業立案数)も7件(目標:5件)と予定以上に進捗している。
- 令和6年度以降は、需要予測データを事業者とともにブラッシュアップしていく。

《令和9年度の到達像》

データに基づくデジタルマーケティングを強化し、スマートツーリズムを実現することによって、観光客を受け入れる側の対応力と、観光客にとっての体験価値がともに向上している。



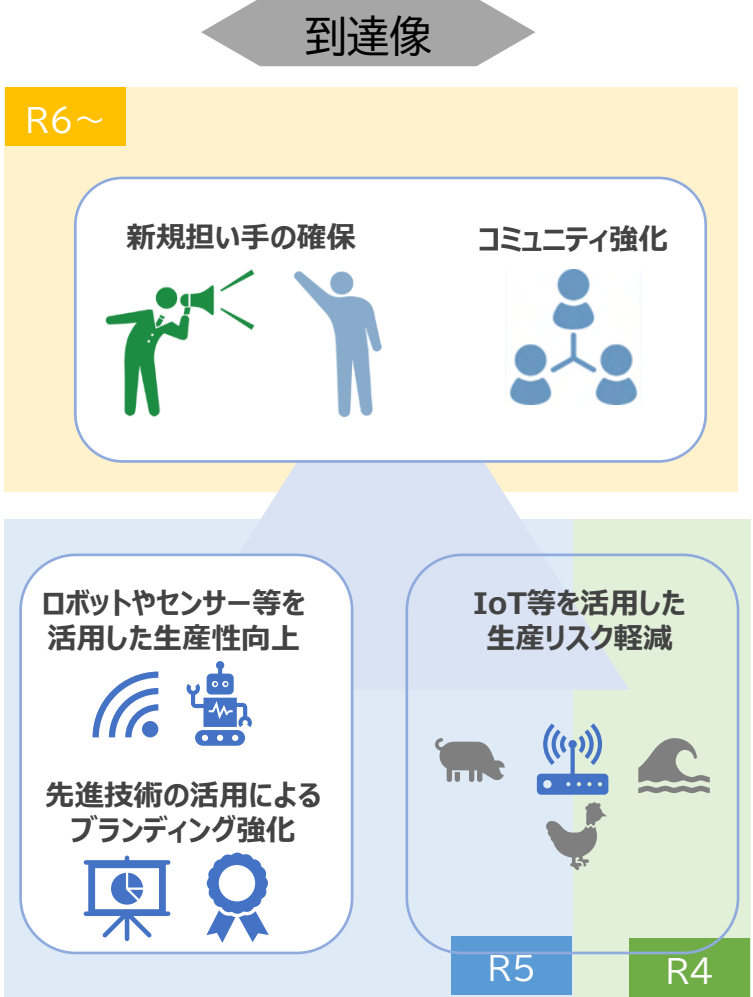
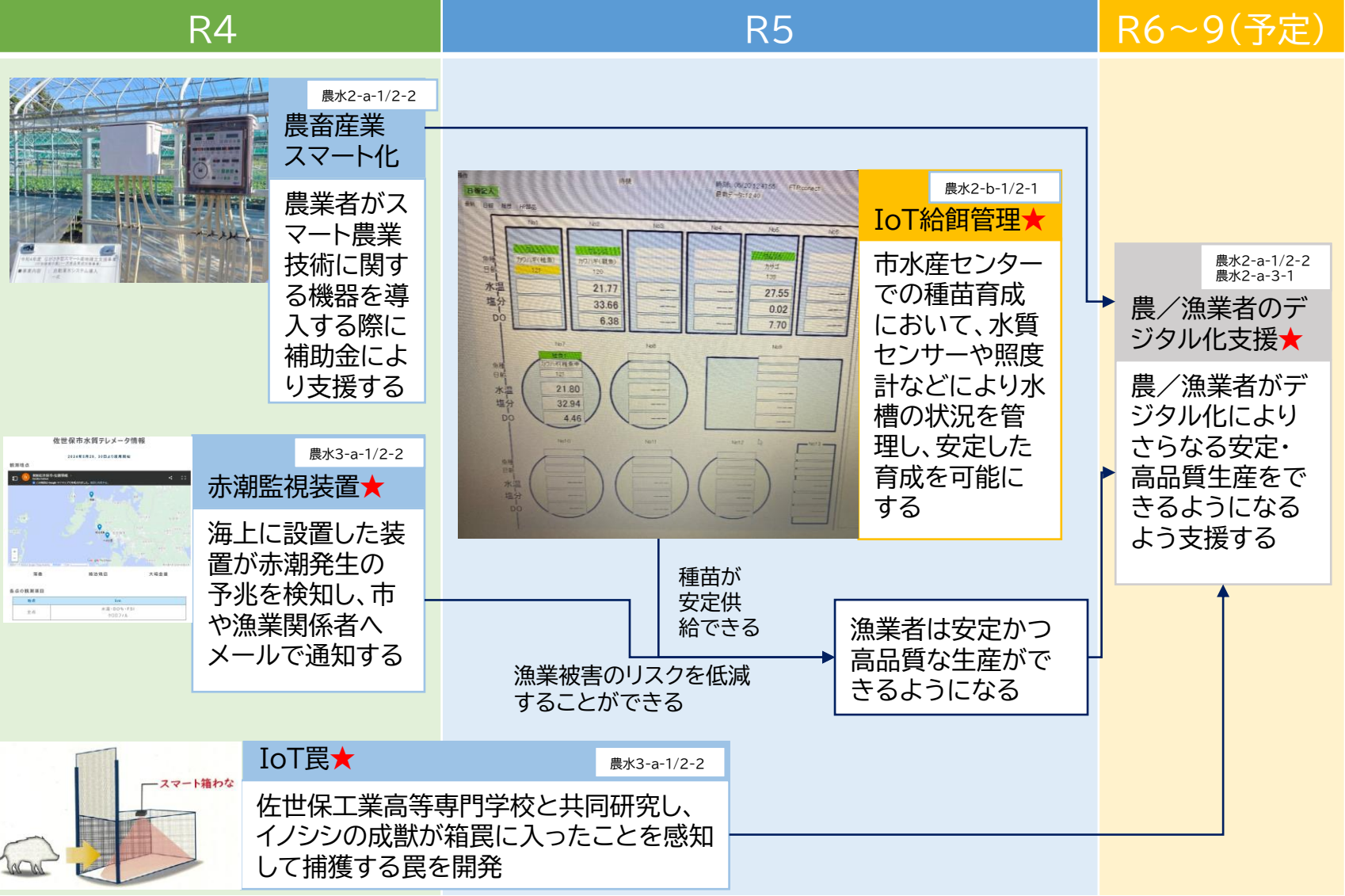
【農林水産分野】 デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

《進捗概要》

- 市水産センターにおいて給餌管理システムを導入し、漁協に販売する種苗の安定供給力を向上させた。
- 令和6年度以降は、農／漁業関係者のデジタル化支援に取り組む

《令和9年度の到達像》

デジタル技術により、農／漁業者の安定かつ高品質な生産が図られる。



【子ども・子育て】 地域を含めた切れ目のない子育て支援

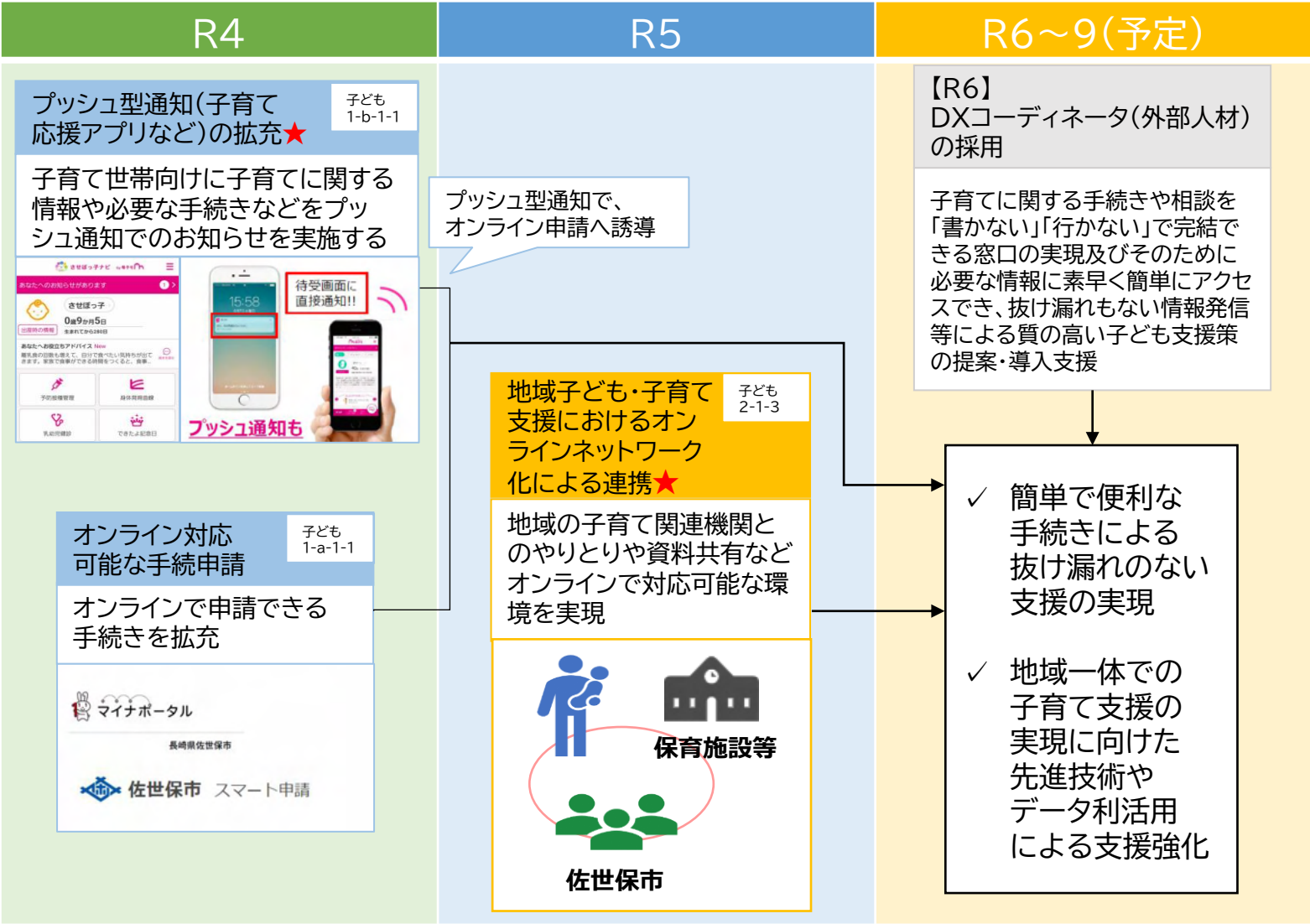
《進捗概要》

- 母子健康手帳アプリ導入やオンライン申請対応手続きの拡充などを実施しており、KPI オンライン対応手続き数98件は概ね予定どおり進捗
- 令和6年度以降は、到達像の達成に向けて、各利用率の向上に資する対策等を講じていく。



《令和9年度の到達像》

簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現、及び地域一体での子育て支援が実現できている。



到達像

R4

手続きのワンストップ化等による利便性向上

佐世保市

R5

データ活用による地域一体での支援

保育施設等

佐世保市

R6~

「R6~の到達像」については、「DXコーディネータ」との協議・検討を行った上で、最適な手段を判断し、導入に向けて検討を進める。

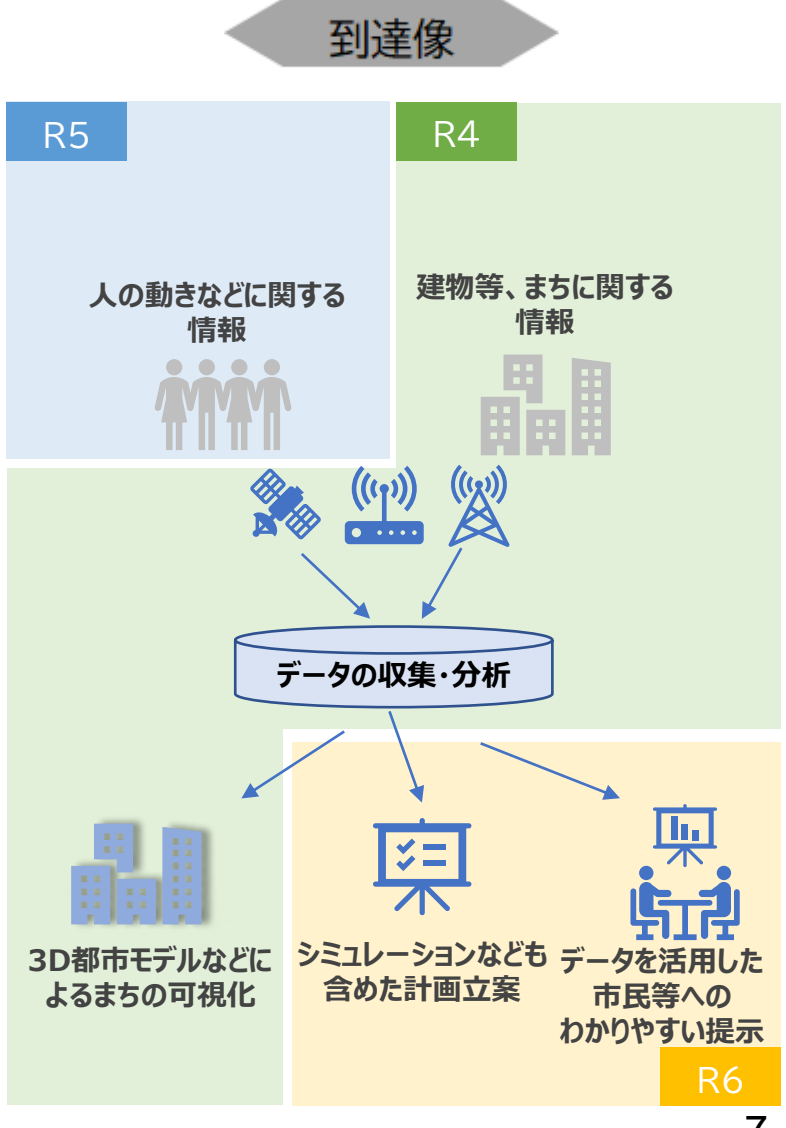
【都市整備分野】 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

《進捗概要》

- 平常時と社会実験時におけるまちなかの人流データを取得し、その変化の状況を把握・分析した。
- 今後は、人流データ／3D都市モデルデータのダッシュボード化を進めることにより、市民／事業者がまちづくりに活用できるようにしていく。

《令和9年度の到達像》

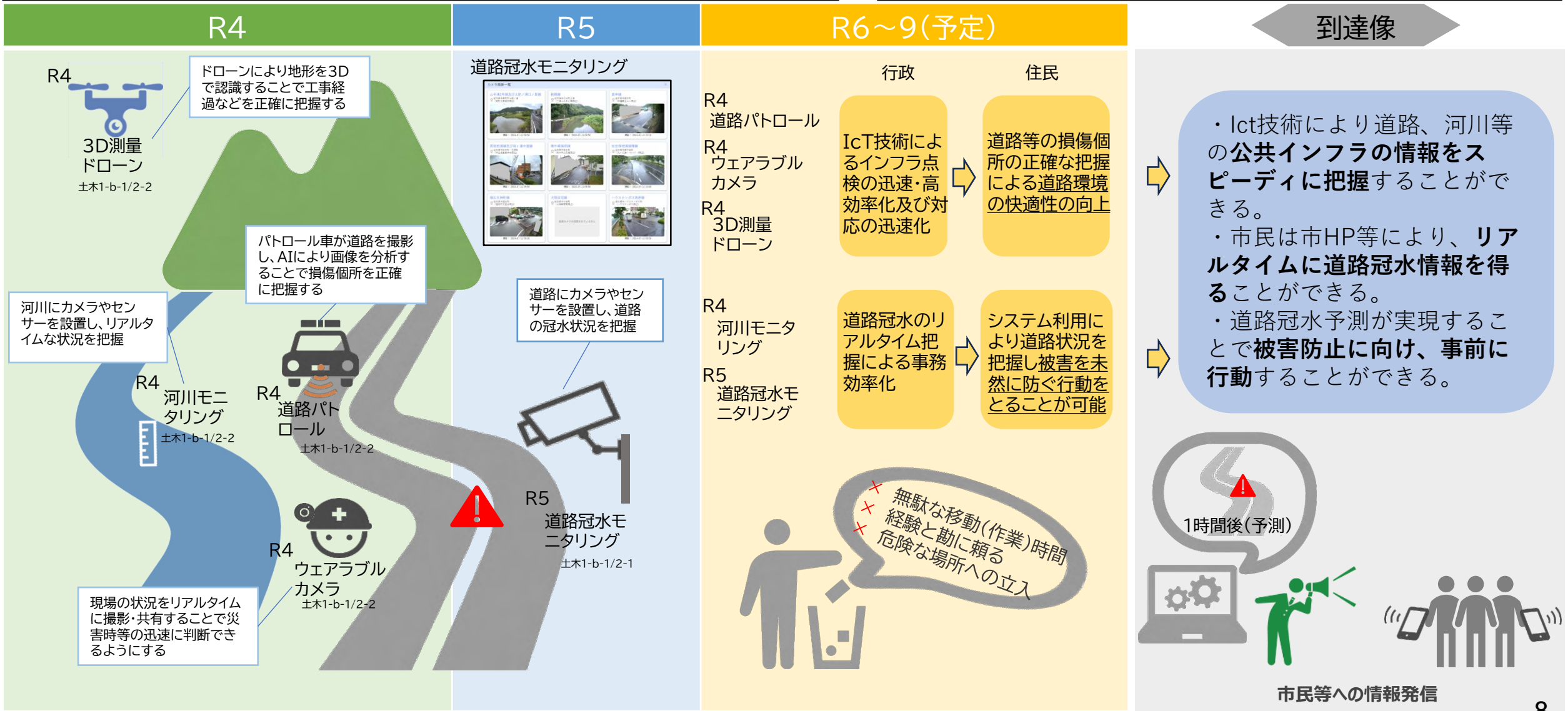
- 行政、民間の双方向でまちの様々なデータを活用し、市民の住みやすさ向上のため公民連携のまちづくりを進めることができる。
- 市民や民間事業者等が、都市計画や防災等に係るまちの情報を容易に取得することができる。



【土木分野】 デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

- 《進捗概要》
- 道路冠水状況モニタリングシステムを導入し、KPI(IoT等による情報把握対象のインフラ施設数)も26件と予定どおり進捗
 - 令和6年度以降は、インフラ管理のデータ分析を推進し、冠水予測の実現を目指す

《令和9年度の到達像》
公共インフラ情報のデータ化が進んでおり、インフラに起因するトラブルが少ない安心・安全なまちになっている。



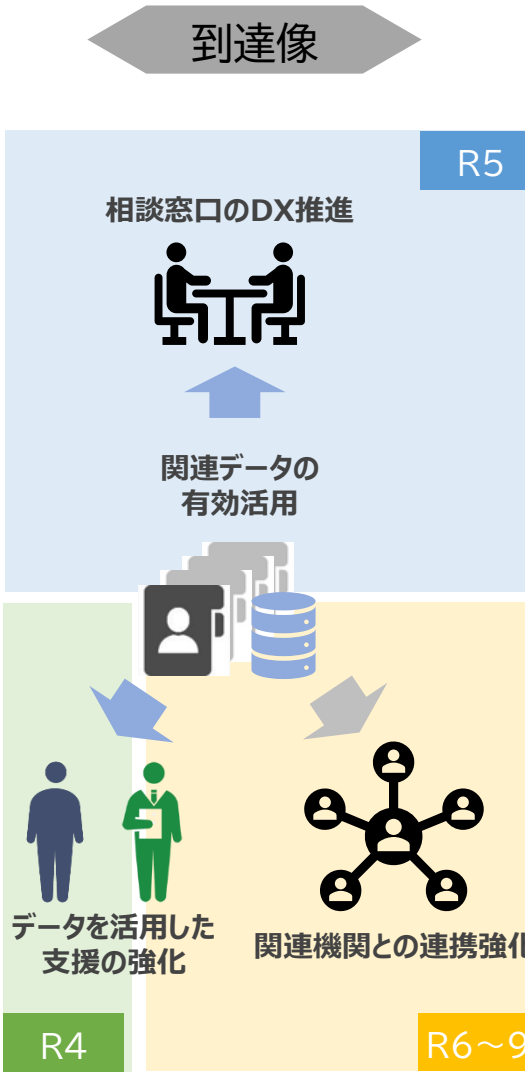
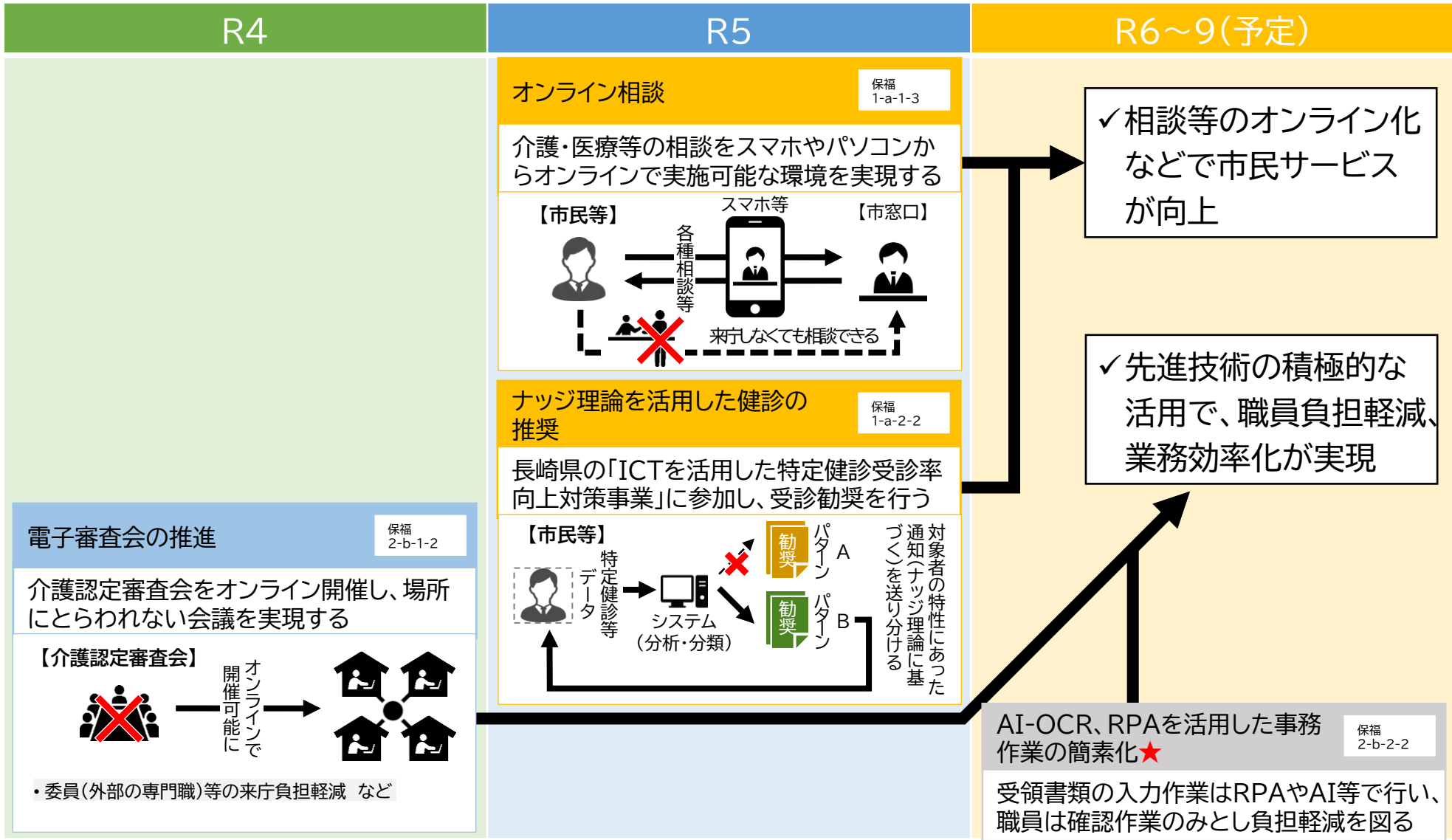
【保健福祉分野】 デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現

《進捗概要》

- 手続きや相談のオンライン対応を進め、KPIであるオンライン対応手続き数は、ほぼ予定どおり進捗したが、相談窓口数、オンライン申請の利用率が目標を下回った。
- 令和6年度以降は、オンライン対応可能な業務の拡大に努めるとともに、オンライン申請の窓口等での周知を行い、利用率増加を図るなど、先進的ICTの活用を進め、業務効率化を図る。

《令和9年度の到達像》

相談のオンライン化等で市民サービスの向上が実現でき、DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる
先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的な支援体制の構築し、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化される



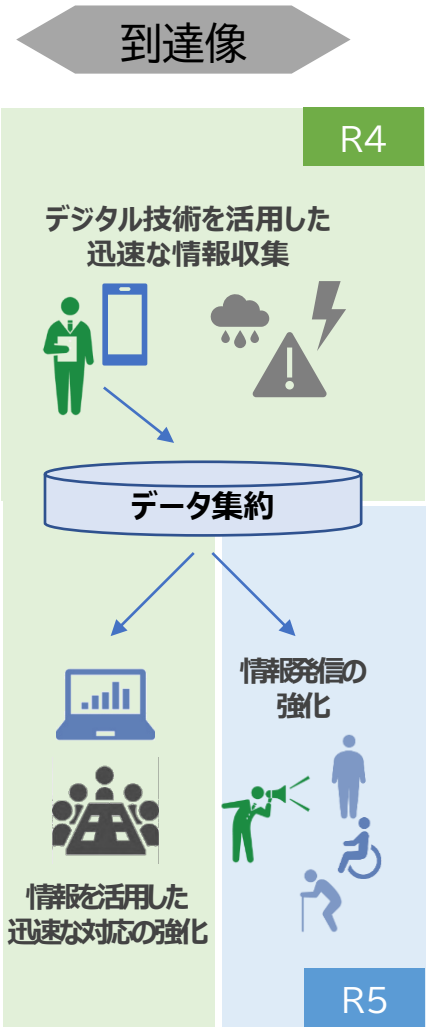
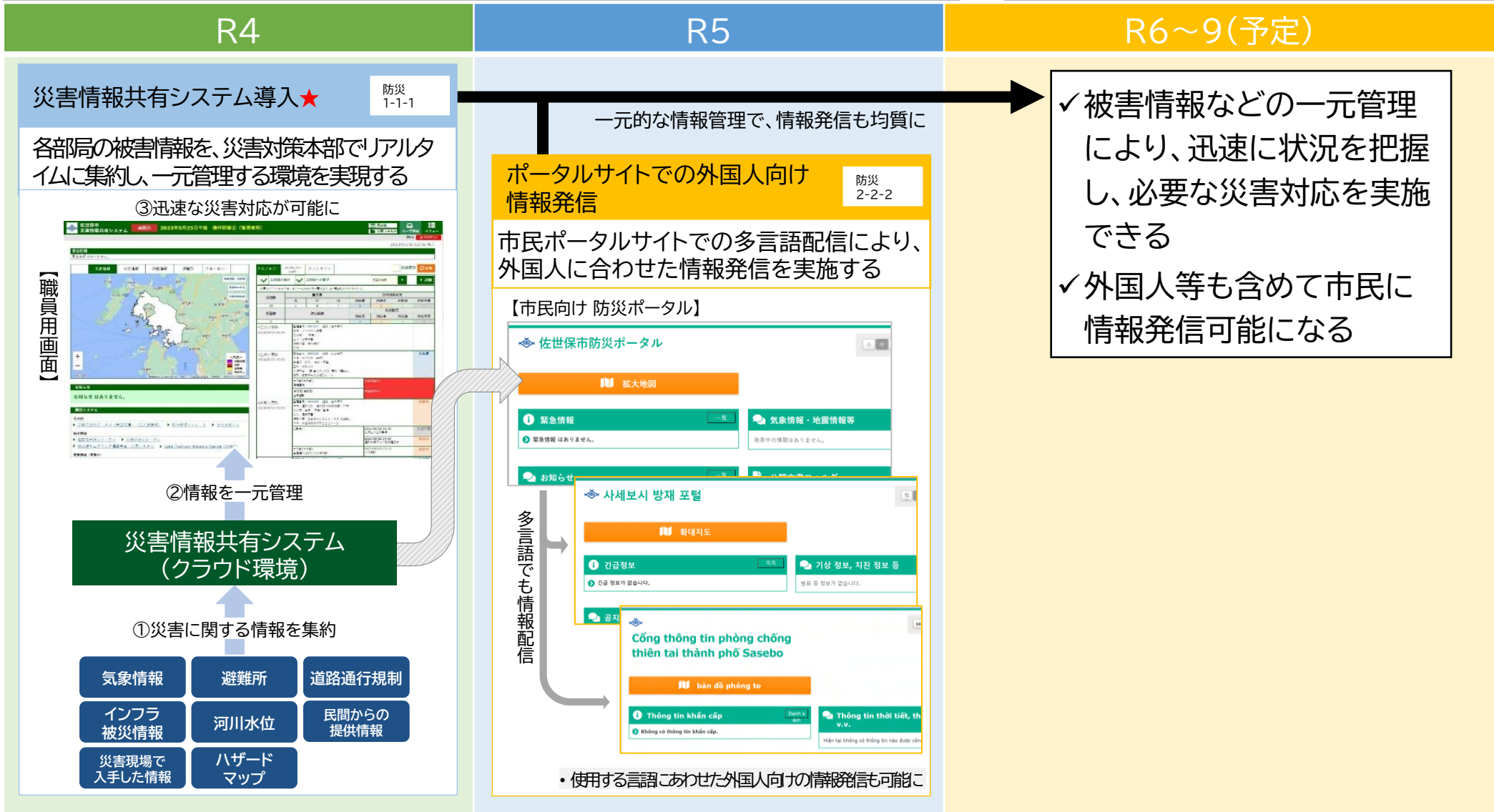
【防災分野】 適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

《進捗概要》

- 災害情報共有システムを構築し、R5.6から運用開始。KPI(情報集約のシステム化率＝100%、情報発信チャンネル数＝11)も予定どおり進捗。
- 令和6年度以降も、引き続きシステムの活用して、迅速な応急対策やタイムリーな情報発信を行っていく。

《令和9年度の到達像》

災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる
多様な市民へも対応できる情報発信ができています



【窓口分野】 行かなくてもよい&待たない窓口

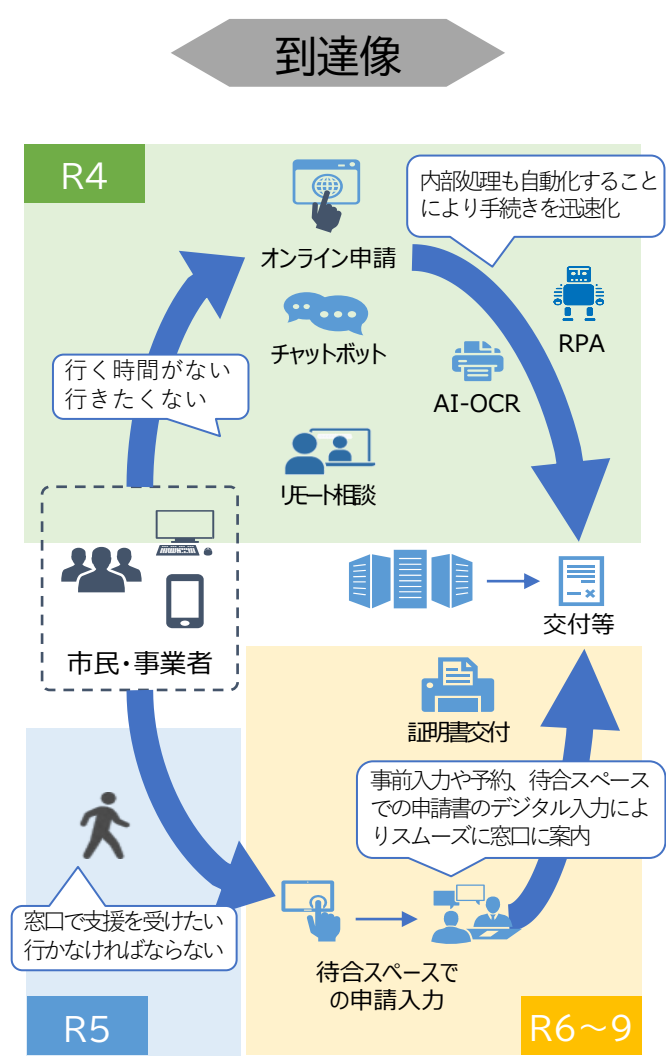
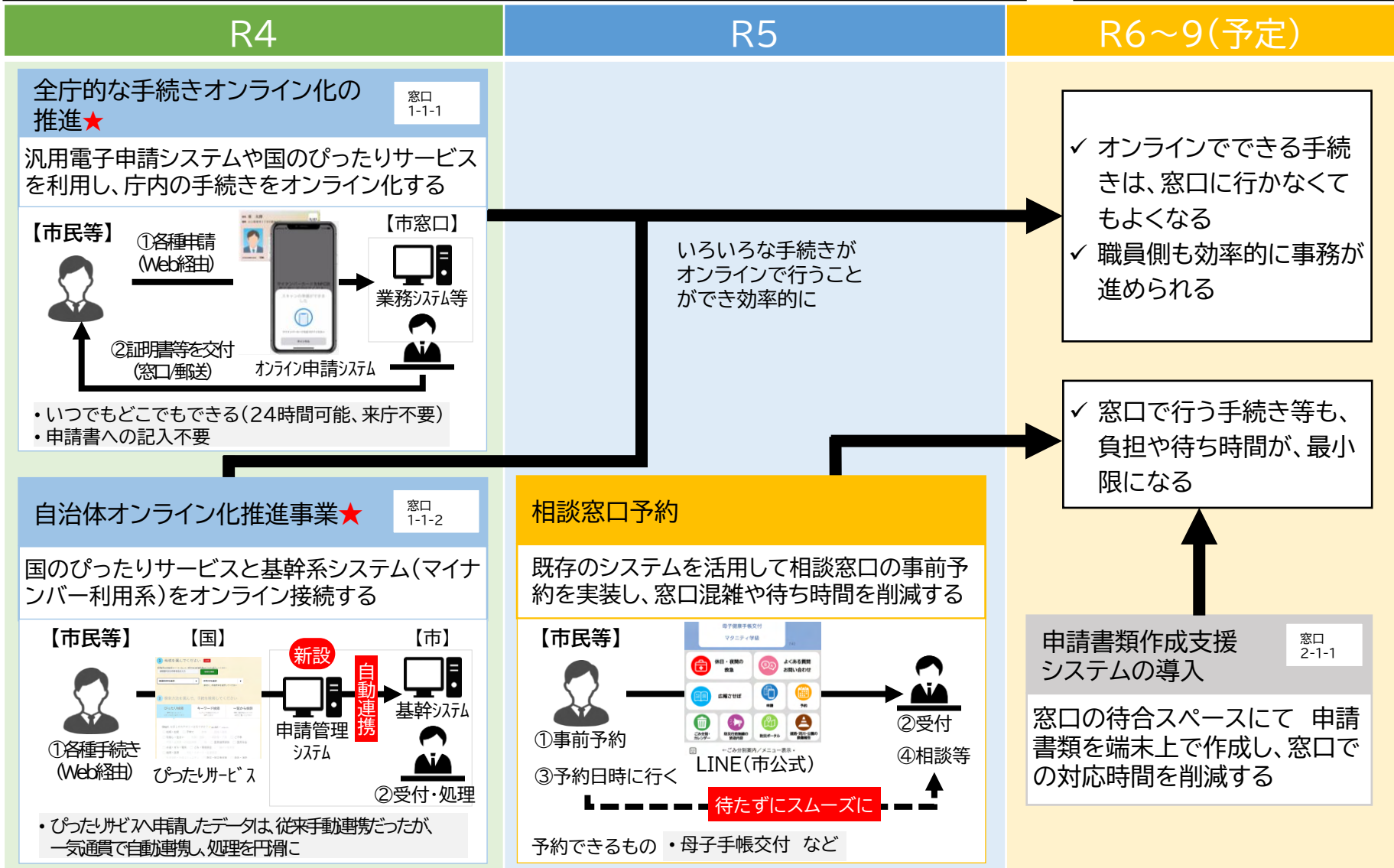
《進捗概要》

- 手続きのオンライン対応を行い、KPIに設定している手続き数は概ね計画どおり進捗が図られている一方で、オンライン申請の利用率が10.2%と予定の1/3ほどの低い状況。
- まずは認知される必要があり、令和6年度以降は、利用の定着に向け周知等を行っていく。

《令和9年度の到達像》

窓口に行く時間がない、行くことが困難な市民・事業者は、手続きをオンラインで行うことができる

窓口での手続き等も最小限の待ち時間でサービスを受けられる



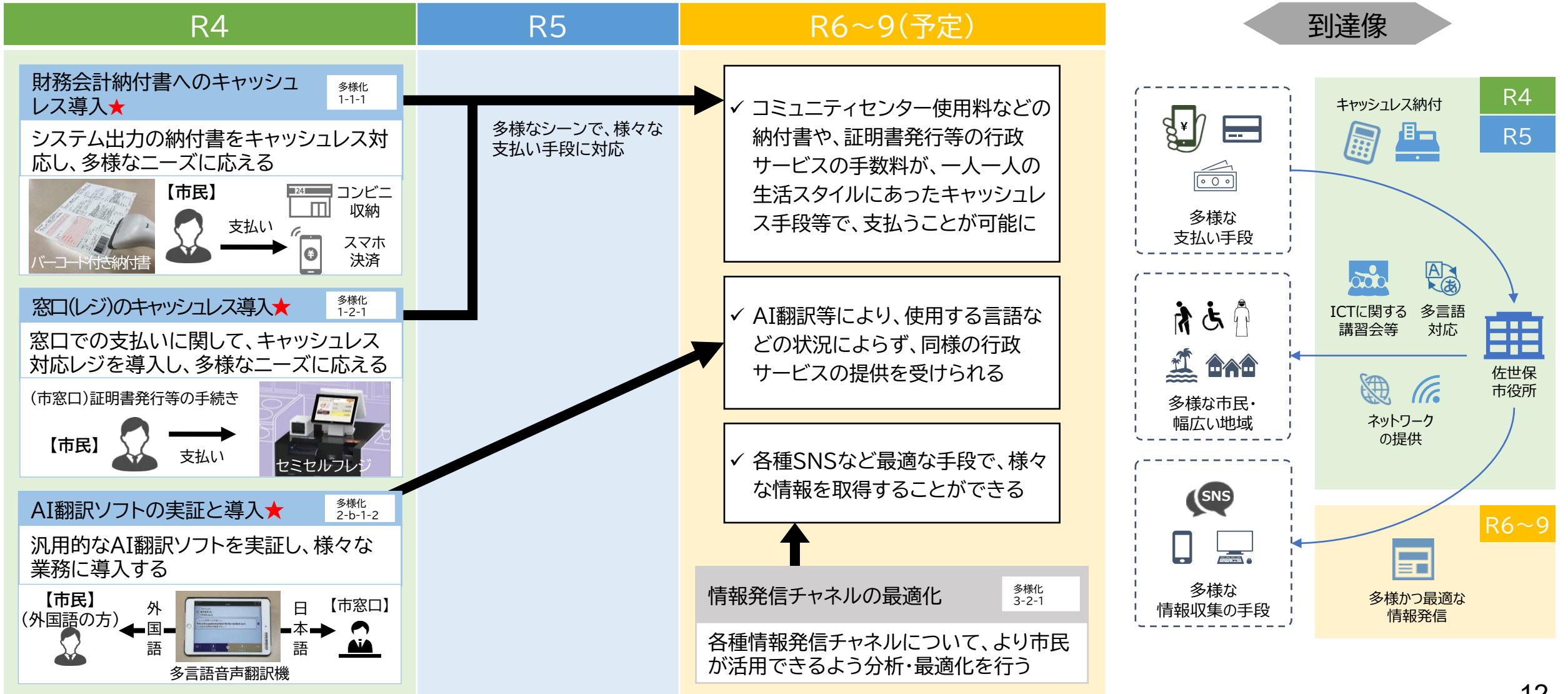
【多様化分野】 多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所

《進捗概要》

- 納付書や窓口手数料のキャッシュレス化を実施したが、KPI(キャッシュレス決済利用率)は、納付書:4%、窓口:12%と予定の約2/3、半分という状況
- 令和6年度以降も、取り組みを継続するとともに、キャッシュレス対応については、利用率の定着・向上を目指し周知・広報を行っていく。

《令和9年度の到達像》

市民・事業者は、行政サービスの各種支払いでキャッシュレスを選択できる。また、年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受できる。市役所が発信する情報を最適な手段で取得することができる。



【業務効率化】 デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

《進捗概要》

- RPA・AIやBIツールなどを導入しており、KPI4件は概ね予定どおり進捗
- 令和6年度以降は、到達像の達成に向けて、自動化の対象業務の拡大やBIツール・生成AIを職員が活用できる環境整備に取り組んでいく。



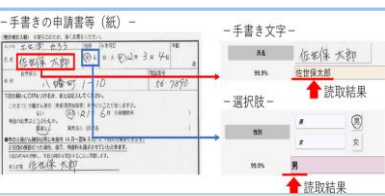
《令和9年度の到達像》

単純な事務作業は自動化・効率化されており、職員が様々なデータを利活用し、職員にしかできない課題解決等の業務に注力できている。

R4

AI-OCRの導入と活用★
業務効率化 2-a-1-2

手書き文字を、データ化する



組み合わせることで、より効果的になる。

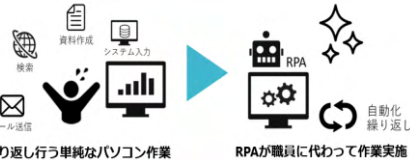
文字起こしAIによる議事録の自動化★
業務効率化 2-a-1-4

議事録作成作業を文字起こしAIにより自動化する



RPAの導入と活用★
業務効率化 2-a-1-1

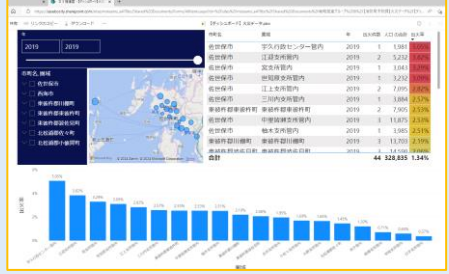
単純なパソコン作業を自動化する



R5

BIツール等を用いたデータの見える化
業務効率化 3-1-1

データを分析・可視化することで、課題解決・意思決定等を補助する

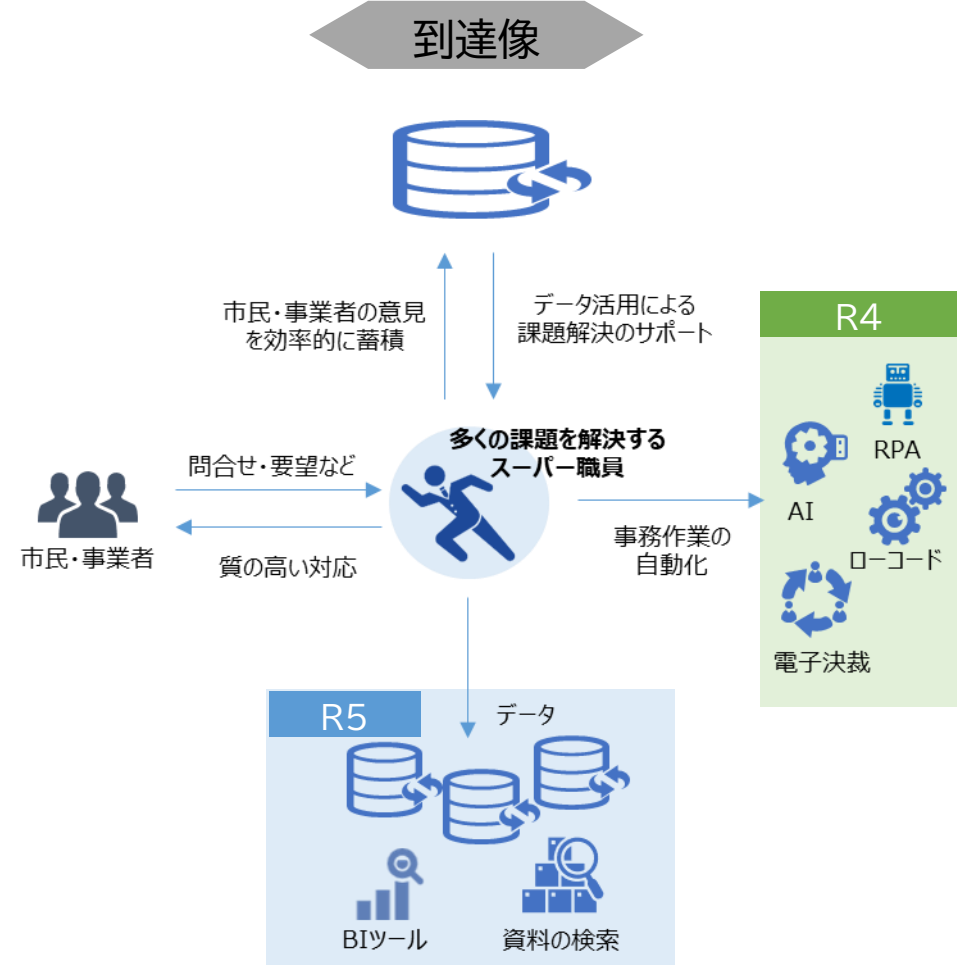


R6～9(予定)

生成AIの業務活用

佐世保市専用の生成AIを全庁的に導入し、業務効率化を図る

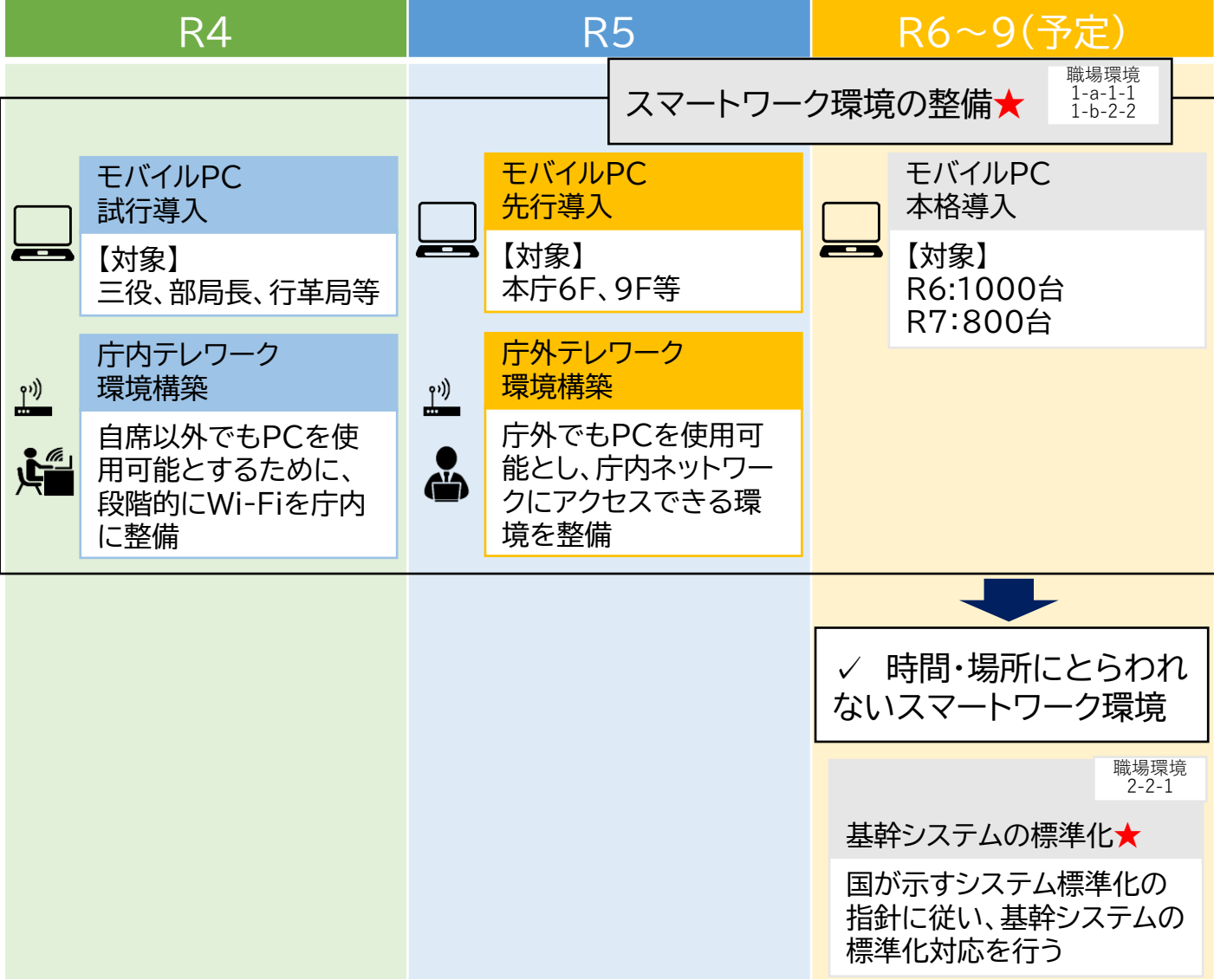
RPA等により削減できた時間を、BIツールを用いた高度なデータ分析を行う時間に充てることができ、データに基づいた精度の高い施策を行うことが可能となっている。



【職場環境】 職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境

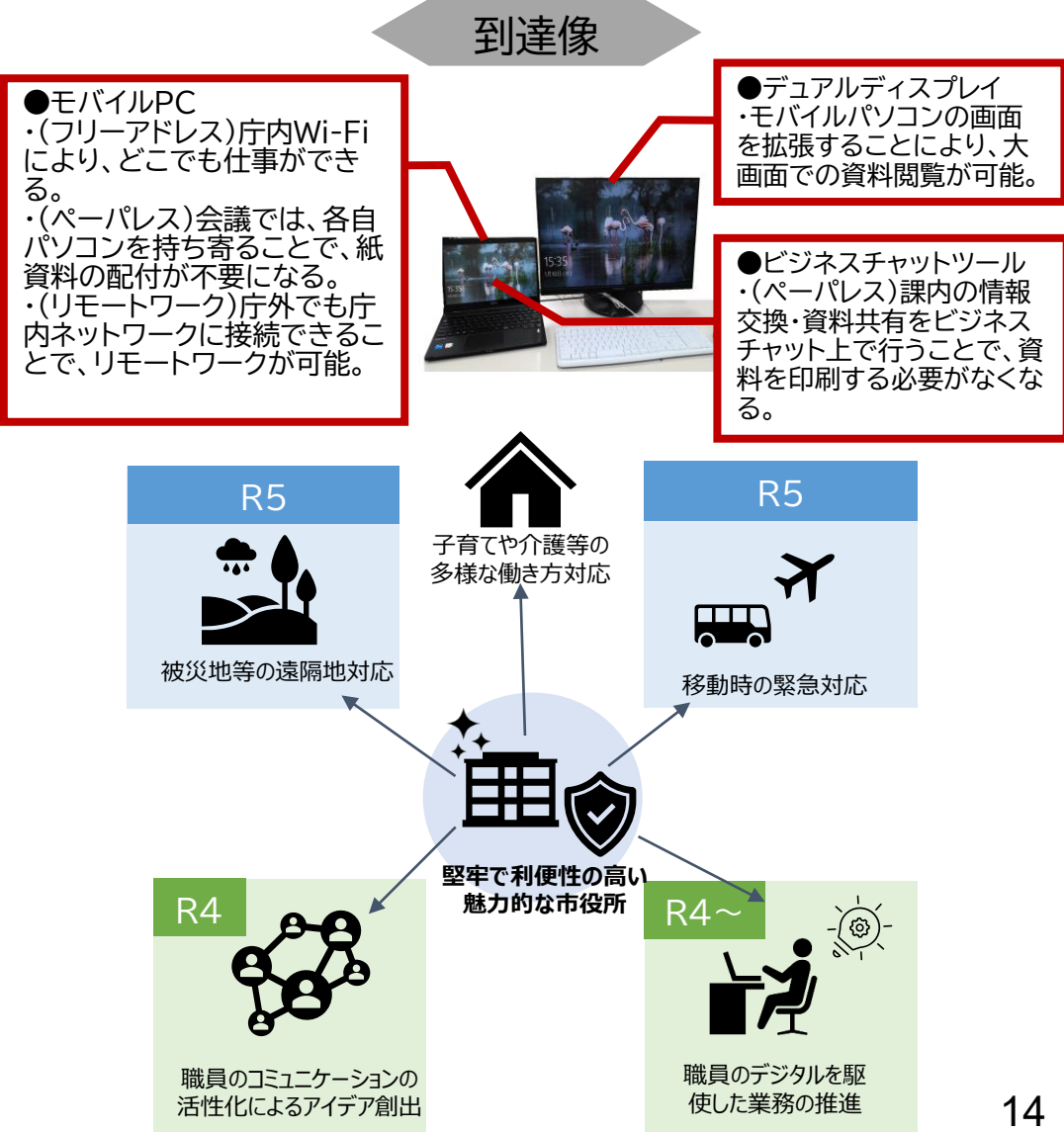
《進捗概要》

- モバイルPC導入・テレワーク環境整備などを実施しており、KPI2件は概ね予定どおり進捗
- 令和6年度以降は、到達像の達成に向けて、モバイルPC導入の拡大や職員が導入済みのツールについて、より活用できるよう取り組み、併せて標準化対応も行う。



《令和9年度の到達像》

職員の働き方が変革され、市民サービスの向上や事務の効率化がなされている。



01「まちづくり」 01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
データ活用による戦略策定と観光力強化	1-1 政策検討に必要なデータの取得・分析						■観光客に関する様々なデータを収集・分析し、潜在的観光客も含めたニーズ動向把握を行い、データに基づいた観光戦略の策定ができている。 ■観光客のニーズ等に関するデータを活用することで、観光地としての対応力を強化し、観光客満足度の高い観光地となっている。
	【観光1-1-4】コンベンション協会業務デジタル化支援						
	【観光1-1-5】混雑状況可視化サービス						
	【観光1-1-6】人流データを活用した行動分析						
	【観光1-1-7】SNSデータのAI分析による観光計画						
	1-2 データに基づいた戦略の策定						
	【観光1-2-1】データ共有プラットフォーム						
	【観光1-2-2】データ分析による需要予測						
デジタルプロモーションの推進	【観光1-2-3】旅行者オンライン購買データ解析による未来予測						■デジタル技術を活用したマーケティングやプロモーションを実施することで佐世保市の魅力をよりわかりやすく伝え、実際に現地を訪れる観光客が増加している。 ■デジタル技術等の活用により、既存の観光資源の魅力を最大化し、より楽しめる観光体験を提供できている。
	1-3 事業者と連携した地域の観光力強化						
	【観光1-3-1】事業者等との情報共有						
	2-1 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化						
	【観光2-1-2】デジタルパンフレット						
	【観光2-1-3】プロモーション動画を起点とした呼び込み						
	【観光2-1-4】デジタルマップの活用						
	【観光2-1-5】各種商品券の電子化						
最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	2-2 新たな技術を活用したプロモーションの推進						■データを活用した観光客それぞれに合わせた観光ルートの提示などにより、まちなかを起点とした周遊観光の強化や、滞在型観光を推進することで、観光客の満足度向上だけでなく、地域経済にも貢献している。
	【観光2-2-1】デジタルトラベルガイドの導入(「xRを活用した観光体験」から名						
	3-1 政策検討に必要なデータの取得・分析(再掲)						
	3-a-2 メタ観光ニーズへの対応						
	【観光3-a-2-1】AIを活用したメタ観光ルートの提供						
	3-b-2 最適な移動手段情報の提供						
	【観光2-b-2-1】周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供						

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
モニタリングデータを事業検証としての活用を本格化する。 誘致活動やプロモーション活動のターゲティング仮説に活用を開始する。 また、市内事業者への情報提供のため、人流・SNSモニタリングデータを市内事業者に提供できる適切なダッシュボード構築にかかる実証を行っていく。 また、旅行客の消費行動分析の導入にかかる検討を開始する。	デジタルマーケティングの推進については、令和5年12月から「佐世保観光マーケティングレポート」の公表をWEB上で開始し、令和6年3月には事業者向けの活用セミナーを開催。事業者の経営マネジメント向上への活用ツールにすべく、スタートを切った。 事業効果検証のために、事業関連施設における入込客数の前年度比較や新規事業を考えるにあたりターゲット層の確認、本市における課題の解決に向けた仮説等の検討に活用した。 また、佐世保観光コンベンション協会と佐世保市のSNS等情報発信において、取得したデータを活用してインサイト分析をしており、情報発信する適切な時間、内容を確認し反映させることで効率的な情報発信に繋がっている。

R5年度の事業総括				
目標		進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	データ活用による戦略策定と観光力強化	○: 予定どおり	人流、WEB、SNSのビックデータ解析を開始。観光マーケティングレポートとしてダッシュボードを確立し公表を開始。	
2	デジタルプロモーションの推進	○: 予定どおり	デジタルパンフレット多言語化が完了。繁体字・簡体字・韓国語・タイ語がデジタルパンフレット化され、日本語と英語を含めて全言語がデジタル化された。 デジタルパンフレットの多言語化をすることで、国内外に対して広く地域プロモーションすることが可能になった。 また、パンフレットをデジタル化することで印刷、製本、配送などの費用の削減やパンフレットの内容をリアルタイムで更新することが可能となったため、観光客の利便性向上につながった。	
3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	○: 予定どおり	令和5年度の秋にSTLOCALがアップデートされ、より精密に周遊コースの設定が可能になった。 システム向上に合わせて、観光客に対して、より細やかなルート案内・提案が可能となったため、令和6年度に周遊コースデータの作成を加速させる。	

1	データ活用による 戦略策定と観光力 強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データを活 用した事業 立案数	予定			5	6	7	8	8	事業提案の際には事前に市場 調査等を行いデータに基づく 展開を行うこととしている。新 規事業の提案数として5件程 度とした。R6以降は1件ずつ 増加させ、年8件を目指す。	事業効果検証のために、 事業関連施設における入 込客数の前年度比較や新 規事業の企画、立案時の ターゲット層の確認、本市 における課題の解決に向 けた仮説等の検証に活用 した。
			実績			7						
		民間事業 者へのオー プンデータ 提示数	予定			3	5	7	7	7	宿泊施設をはじめとする観光 関連事業者に対し、市が提供す る観光関連データ分析結果の ダッシュボード数 ※ R5は、人流データに関す る旅行者動向に関するダッシュ ボードを3種類から始める ※ 発地、属性、季節性などを 想定	マーケティングレポートとし て月に1回の頻度で公開をし ており、令和5年度は1回に つき13種類のダッシュボード を作成し公開している。 マーケティングレポートは佐 世保観光コンベンション協会 や佐世保市ホームページに て公開するとともにコンベン ション協会の賛助会員等に 対してメール配信や旅館ホ テル協同組合等に紹介を行 い周知に努めている。
			実績			13						

2	デジタルプロモ ーションの推進	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		デジタル化 されたプ ロモーション 件数	予定	10	15	20	20	20	20	20	SNSを利用したプロモーション は現在も 10 本程度実施し ており、今後はターゲットを細 かく設定して件数を伸ばす。	SNSでのプロモーション 設定を可能な限り行っ た。
			実績	10	16	20						

3	最適な観光ルート 提示等による訪れ たい佐世保市の構 築	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		観光ルート のアクセス 数/利用者 数	予定	25,000	27,500	30,000	33,000	36,000	39,600	43,500	令和3年度のモデルコースのサ イト閲覧数の見込みが 25,000PVのため毎年10% 増を見込む ※コロナの影響を考慮し、令和4 年度サイト閲覧数151,246PVの 毎年10%増を見込む	コロナの影響により減少 していた観光客の戻りが 顕著になった令和4年度 に、令和3年度の約3倍と なった。令和4年度から令 和5年度の伸び率は5% 強となっている。
			実績	55,584	151,246	160,116						

01「まちづくり」 02【農林水産】デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
担い手の確保・継続・育成			1-1 新たな担い手の参入促進 【農水1-1-1】担当者等によるオンライン相談や回答サービス 【農水1-1-2】新規参入マッチングサービス 【農水1-2/3-1】デジタルを活用したコミュニティ交流の強化				■新規参入者向けのサポートをオンライン含め充実させることで、新規参入者が不安なく、安心して農林業・漁業に取り組んでいる。 ■コミュニティ交流の強化により、新規参入者が地域とより繋がることで、共助の関係を構築できている。
生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現			2-1 農業・漁業のスマート化推進 【農水2-a-1/2-1】農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援) 【農水2-a-1/2-1】IoTを活用したスマート畜産 【農水2-a-1/2-3】農薬散布用ドローン等 【農水2-b-1/2-1】IoTを駆使した給餌管理 【農水2-b-1/2-2】AI活用による漁獲量向上 【農水2-b-1/2-3】データ活用による漁獲量予測 【農水2-a-3-1】生産者への情報共有のデジタル化				■デジタル技術を活用することにより、生産性を向上させることで、収入面の安定や向上が実現できている。 ■生産物の強みを可視化し、付加価値を高め、佐世保市の農林水産業のブランド化や所得向上が実現できている。
安心・安定して生産できる環境の整備			3-1 鳥獣/赤潮被害の軽減 【農水3-1-1】有害鳥獣被害防止対策 【農水3-a-1/2-2】赤潮監視対策事業				■ICT等を活用することで、鳥獣対策や赤潮等の生産リスクが最小化された環境を実現できている。

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
【農業】担い手の参入促進は、関係機関と共に状況を注視し検討を図る。環境制御機器等によるスマート化を中心に支援を行い、新たな販路の拡大も検討して行きたい。【漁業】R5は水産センターへIoT水質管理システム等の導入を構築、安定した魚類種苗生産を図る。【鳥獣】IoT監視システムにおいて、昨年度に開発したデバイスをを用いて、現場で実証実験を行う。【監視装置】テレメータによる赤潮の早期検知システムの運用を行い、安心安定して生産できる環境の整備を図る。	【農業】令和5年度は4戸において環境制御機器等の導入を図った。また次年度以降のスマート化推進に向けた検討を実施した。 【鳥獣】IoT監視システムにおいて、昨年度に開発したデバイスのセンサーを再試験しデバイスの再調整を行った。 【漁業】《IoT給餌管理》調光システム3基、水質センサー3台を導入した。《赤潮監視装置》テレメータによる赤潮の早期検知システムの運用を行い、安心安定して生産できる環境の整備を図った。地元養殖業者から高評価を得ており、継続設置の要望がある。《漁業者のIoT活用》市内の一部漁協の総会時に資料を配付し、漁業者に周知を図るという取組を行った。

R5年度の事業総括				
	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	担い手の確保・継続・育成	○: 予定どおり	新規就農者に対して関係機関と状況を注視しながら、窓口来所又は電話で就農相談を実施した。また、新規参入促進のため、農地の貸し借りをWEB上でマッチングする仕組みについても引き続き状況を注視しながら検討する。	
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	○: 予定どおり	【農業】県北地域におけるR4年度の環境制御機器等の取組み主体は22戸、その内佐世保市が13戸と全体の約60%を占めている状況であった。また、次年度以降についても、導入に向けた検討を実施した。 【漁業】調光システムは、3基を導入、水質センサーは、3台を導入した。 漁業者へのIoT活用の推進については、市内の一部漁協の総会時に資料を配付し、漁業者に周知を図るという取組を行った。	
3	安心・安定して生産できる環境の整備	△: 遅れている	【赤潮監視装置】赤潮発生時期の有害プランクトンモニタリングを行い、常時監視することで、測定値を基にしたリスク管理を行うことができた。加えて、いつ起こるか分からない赤潮発生に対する、養殖業者の精神的ストレス軽減も図ることができたことから、安心・安定して生産できる環境の整備に寄与できたと一定評価できる。	【鳥獣】令和4年度に開発したデバイスを令和5年度に研究室実験していたところ、改良が必要であることが判明した。そこで、令和5年度中はセンサー感度を再試験し更に実効性のあるデバイスの開発を進めた。令和6年度から改めて現場で実証実験を行うと共に、市内での捕獲実証実験を行う。

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		新規就農 などオンライン・デジタルによる 相談数	予定	プロジェクトの検討と合わせて整理し設定する							プロジェクトの検討と合わせて 整理	-
1	担い手の確保・継続・育成		実績									

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		IoT等を活用した農家数	予定	5	18	28	44	62	82	102	これまでの実績及び佐世保市農畜産物全般を対象としたスマート化・高品質化支援事業の計画	アンケートの結果、R5については導入を希望する農業者が少なかったことから、目標達成していない。今後も事業の周知に努め農業スマート化を推進する。
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現		実績	5	18	22						
		IoTを活用した漁業者数	予定			30	40	40	40	40	漁協聞き取り	漁業者の高齢化もあり、受入れに難色を示し普及が十分に進んでいない。また、アプリの潮流予測についても漁業者から指摘もあることから、アプリの改良の進捗状況の確認および広報を続けていく予定としている。
			実績			0						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		IoTを活用した鳥獣検知箇所数	予定					—	—	—	R4～6にかけて実証実験を行い、令和7年度に全市的に展開を行う計画としているので、R6に目標値を設定する予定。	-
3	安心・安定して生産できる環境の整備		実績									
		IoTを活用した赤潮検知箇所数	予定		1	1	4	4	4	4	設置予定台数から算出	計画どおり実施できた。
			実績		1	1						

01「まちづくり」 03【子ども・子育て】地域を含めた切れ目のない子育て支援

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	1-a-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						■子育てに関する手続きのオンライン化やワンストップ化により、子育て世帯の手続きの利便性の向上が実現できている。 ■子育て世帯それぞれに合わせ、子育てに関する様々な情報をプッシュ型通知などで積極的に発信することで、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども1-a-1-1】オンライン対応可能な手続申請						
	1-b-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						
	【子ども1-b-1-1】プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充						
	1-2 子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化						
	【子ども1-2-1】オンライン申請利用率の向上						
地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	2-1 新たな技術を活用した子育て支援の推進						■先進技術やデータの活用により、地域一体での子育て支援の更なる拡充と職員の業務効率化の双方を実現できている。 ■データに基づいた施策立案により、複雑化する市民ニーズへの対応を強化し、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども2-1-2】オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)						
	2-2 子育て支援に必要なデータの取得・分析						
	【子ども2-1-3】地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携						
	2-3 データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応						
	【子ども2-2-1】子育て関連情報の一元管理						
	【子ども2-3-1】AIデータ分析による業務活用						

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
○放課後児童クラブ等との効果的かつ効率的な連携については、令和4年度の検討・協議を踏まえ、まずは73クラブ全てにおけるメール導入を推進するとともに、オンライン申請が実施できるよう環境整備を図ることで、市と児童クラブ双方の業務の効率化を推進する。 ○子育て世帯等にとって「簡単で便利な手続き」を継続して提供できるように、引き続き研究を行いながら、可能な限り実現を図る。	○令和5年度から、放課後児童クラブ全てにおいてメール導入やオンライン申請が実施できるよう環境整備を行ったことにより、オンライン申請を活用した業務効率化につながった。今後についても、児童クラブ職員向け研修実施時におけるオンラインシステムの活用等、さらなる効率化についても検討を進める。

R5年度の事業総括			
目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
未対応の手続について、オンライン申請の可否を含めて改めて検討を行う。 また今後は、オンライン申請率の向上のための対策を検討する。	○: 予定どおり	オンライン申請のさらなる活用で、効率化を目指す。 ○今後は、オンライン申請率の向上に向けて対策を検討する必要がある。	
①令和4年度の検討・協議を踏まえ、まずは73クラブ全てにおけるメール導入を推進するとともに、オンライン申請が実施できるよう環境整備を図ることで、市と児童クラブ双方の業務の効率化を推進する。 ②次期子ども未来プラン(令和7年度)の策定に向けた取組を実施し、必要な支援の検討に向けた調査・検討を行う。	○: 予定どおり	①クラブ全てにおけるメール導入ができた。またオンライン申請が実施できるよう環境整備を図った。 令和5年度よりオンライン申請の活用ができ、効率化につながった。	

1	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応手続 き数	予定	16	77	90	90	95	95	95	オンライン対応可能な手続き調査(オンライン申請実施計画)に基づき設定	対応可能なものから順次実施している。
			実績	19	84	95						
		オンライン申請利用 率	予定	10.0%	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数	対応可能なものから順次実施している。
			実績	12.1%	14.0%	29.9%						
		プッシュ型 通知登録 数	予定	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%	63.0%	67.0%	70.0%	させばっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳交付者数(年度ごと)	R5の新規登録者数(665人)は、初産である方の母子健康手帳交付者数(604人)を超過しており、登録が必要な方には行き渡っているものと判断している。
			実績	78.0%	46.2%	45.4%						

2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応相談 窓口数	予定	1	2	3	4	4	4	4	相談に係る主要4事業におけるオンライン対応の計画的な実施(妊婦相談・訪問指導・マタニティー学級・乳児家庭全戸訪問)	引き続き実施体制の拡充に努める。
			実績	1	2	3						
		オンラインネットワーク 連携施設 数	予定			50	73	73	73	73	オンラインネットワーク構築に係る放課後児童クラブの施設数	令和5年度整備完了
			実績			73						

01「まちづくり」 05【都市整備】高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	1-1 まちづくり計画に必要となる人流情報の把握 【都市1-1-1】人流データの把握	【都市1-1-4】空き家状況の把握					■人の流れや交通量等、日々変化するまちに関する情報や現地確認などにおいて、ICT技術を活用することによりリアルタイムで正確かつ効率的に把握し、まちの姿を可視化できている。 ■行政で活用できる基盤整備から始め、民間との双方向によるデータ活用を実現できている。
3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	2-1 3D都市モデルの活用 【都市2-1/2/3-1】3D都市モデル構築業務						■取得したまちに関する情報を3Dモデルにて市民や事業者等へ提示・発信することで、都市計画・設計や防災等における、まちの情報をわかりやすく発信することができている。 ■データに基づく政策展開をスタンダードにし、民間との双方向での活用や、公民連携を実践できている。
データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）		3-1 土地利活用に関する情報提供システムの一元化 【都市3-1-1】データ共有プラットフォーム					■市民や事業者等のニーズに即したデータ提供や窓口一元化により、サービスの質の向上が実現できている。 ■データ取得する市民や事業者等に対し、関連する情報も提供するなど、データ活用を糸口にして幅広く役立つ情報が提供できている。

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
「3D都市モデルを活用したまちづくり計画の推進」に向け、可視化した情報をもとに、まちづくりの課題に対しての分析を行う。	3D都市モデルや人流データを活用したまちづくり計画の検討等を行い、予定していた目標は達成できた。

R5年度の事業総括				
	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	○: 予定どおり	まちなかウォークアブル推進事業に取り組む中で、事業箇所やその周辺の人流データをGPSデータやAIカメラを用いて取得した。	
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	○: 予定どおり	3D都市モデルを構築し、これを活用した「浸水想定市街地のまちづくり」「斜面住宅地の再生」「ウォークアブルなまちづくり」に向けた基礎データの収集と分析を行った。	
3	データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）	○: 予定どおり	3D都市モデルを構築し、これに都市計画関連情報を情報を重畳し、市民や民間事業者へ公開するとともに、窓口業務での活用を開始した。	

1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイムで取得する情報の利用率	予定		100%	100%	100%	100%	100%	100%	人流・交通量データの利用率(リアルタイム情報の把握をする際、当該施策検討におけるデータ活用の必要性和有用性を必ず確認した上で、取得したデータを活用できたかどうか)	今後の施策展開に必要な施設や区域を選定し、現況や実態のデータ分析を行い、想定通りの活用ができた。
			実績		100%	100%						
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		事業立案に利用可能な3Dデータを活用した事業数	予定			3	3	4	4	5	構築したデータを活用した事業や政策立案数を2年ごとに着実に増加させる。	予定通りの進捗が図れている。
			実績			3						
3	データー一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		都市計画に関するオープンデータ数	予定			5	6	7	8	9	Web上で閲覧できる情報(オープンデータ)の項目数	予定通りの進捗が図れている。
			実績			5						

01「まちづくり」 06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	1-a-1ドローンの3D測量等多目的活用の実施 【土木1-a-1】ドローンの多目的活用の推進	1-b-1モニタリングによる道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 【土木1-b-1】道路冠水状況モニタリングシステム					■ドローンを多目的に活用(空撮・3D測量等)し、i-Constructionを推進している。 ■IoTを活用した道路・河川等のモニタリングや、ウェアラブルカメラによる双方向通信により、インフラ情報のスピーディな把握が実現できている。 ■ICT機器の活用により、インフラ施設の情報分析のための情報収集が、効率的に実現できている。
AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	2-1 モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 【土木2-1-2】道路パトロールデータのAI分析	【土木2-1-3】WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報		【土木2-1-1】冠水・浸水予測システム			■道路・河川等のモニタリングにより、緊急時の対応の迅速化が実現できている。 ■インフラ情報をAI技術等により分析を行い、冠水・浸水の未然防止及び予防保全の高度化並びに渋滞対策や改良箇所抽出などが実現できている。
インフラ情報のリアルタイム発信		3-1市民へのインフラ情報のリアルタイム発信 【土木3-1】ホームページ等による情報のリアルタイム発信					■IoTの活用により取得した道路・河川等のモニタリングデータをホームページなどにより、市民に対してリアルタイム発信(公開)が実現できている。

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」に向け、ドローンによる3D測量等の本格的な運用開始、道路モニタリングの運用開始に向けたIoT機器の整備を行うとともに、AI技術等を活用したインフラ情報の分析や管理の高度化について研究を行う。	道路冠水状況モニタリングシステムの導入及び河川等への水位計の設置を行い、予定通りの事業進捗を図った。

R5年度の事業総括				
	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	○: 予定どおり	「ドローンの多目的利用の推進」として、3D測量等のテスト運用を行った。また、「モニタリングによる情報把握」として、道路冠水モニタリングシステムの導入を行った。	
2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	○: 予定どおり	道路パトロールデータのAI分析や、LINEのチャットボットを活用した。予測システムについては、DXコーディネーターと協議や、メーカーへの聞き取りを行った。	
3	インフラ情報のリアルタイム発信	○: 予定どおり	道路冠水状況モニタリングシステムにおいて、市民への周知機能を含め、システム導入を行った。	

【R5】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

1	ドローン・IoT・ICT を活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		ドローン・IoT・ICT による情報把握対象の土木インフラ施設数	予定		11	26	28	30	34	38	ドローンの多目的利用による情報把握施設数及び道路・河川モニタリング箇所数等	計画通りの進捗が図れている。
		実績		11	26							

2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データ分析対象の土木インフラ施設数	予定		1	1	1	1	3	5	冠水・浸水予測システムによる分析箇所数及び道路パトロールデータの AI 分析施設数	計画通りの進捗が図れている。
		実績		1	1							

3	インフラ情報のリアルタイム発信	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイム発信チャネル数	予定				2	4	6	8	道路・河川モニタリング箇所のデータのリアルタイム発信のチャネル数(1 箇所 =1 チャネル)	-
		実績										

01「まちづくり」 07【保健福祉】デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
気軽に相談できる窓口の構築		1-a-1福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上 【保福1-a-1-3】オンライン相談 1-a-2福祉に関する情報発信の強化 【保福1-a-2-2】ナッジ理論を活用した検診の推奨		1-b-1/2 気軽に相談できる窓口の実現にむけた運用面の整理		1-3 気軽に相談できる窓口の実現 (DX活用による連携強化)	■手続きや相談のオンライン化及びプッシュ型通知等による情報発信の強化により、市民サービスの向上が実現できている。 ■DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる。
多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	2-b-1 包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	【保福2-b-1-1】訪問調査におけるタブレット活用 【保福2-b-1-2】電子審査会の推進		2-b-1 先進技術の導入による職員負担の軽減 【保福2-b-2-2】AI・OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化		2-b-2 AIを活用した市民サービスの推進	■先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的支援が実現できている。 ■包括的な支援体制の構築に向け、関連する情報を集約し、地域で共有することで、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化されている。
				2-3 市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援の実現			

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
オンライン対応手続きの拡大やオンライン対応での対応により、市民目線のあるべき窓口の構築を目指す。 包括的支援(重層的支援体制整備事業)については、移行準備事業への着手を開始する段階であり、直接的なデジタル施策を実施する段階にないことから、引き続きスマートプロジェクトの利用拡大を中心に、業務の効率化、職員負担の軽減を図る。	オンライン対応手続きについては、対応可能なものから順次実施しており、今後も手続きのオンライン化を進めていく。 オンライン相談窓口については、対応可能なものから順次実施した。ただし、目標には届いていないことから、今後も対応可能な業務の拡大に努めていく。 AI、RPA等のスマートプロジェクトの活用により、業務の効率化を図ることができた。

R5年度の事業総括				
	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	気軽に相談できる窓口の構築	○: 予定どおり	オンライン申請実施計画に基づき、オンライン対応手続きの拡大を図った。 オンライン相談窓口については、個別のニーズ・必要性に応じて、オンラインでの対応を取り入れ、対応可能なものから順次実施した。ただし、課かいによっては対応しがたいところもあり、目標には届いていない状況にある。今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努めていく。	
2	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	○: 予定どおり	業務効率化を進めるため、スマートプロジェクト(AI・RPA)の利用拡大に取り組んだ。 R5年度の相談件数は2件 AI文字起こし利用の実績が大きく目標を上回った。	

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	気軽に相談できる窓口の構築	オンライン対応手続き数	予定	8	186	256	256	256	256	256	オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定	対応可能なものから順次実施している。今後も手続きのオンライン化を進めていく。
			実績	15	154	251						
		オンライン申請利用率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数	対応可能なものから順次実施し、窓口等で周知をしているものの目標値を下回っている。引き続き、窓口やホームページ等でオンライン申請を周知するなど、利用率増加を図る。
			実績	18.0%	8.0%	8.6%						
		オンライン対応相談窓口数	予定			15	15	15	15	15	オンライン対応窓口数	対応可能なものから順次実施した。ただし、目標には届いていない状況であるため、今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努めていく。
			実績			10						
2	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		AI等先進的なICTを活用する業務数	予定	85	74	80	85	90	95	100	AI、RPA等の活用により、業務効率化に取り組んだ業務数を設定	議事録AI利用実績が大きく伸び、目標を上回っている。
			実績	85	108	205						

【R5】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」 08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	1-1 災害対応に必要なデータの取得・分析						■災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる。 ■有事における対応計画が一元化された情報により作成できるようになる。
	【防災1-1-1】災害情報共有システム導入						
	【防災1-1-2】対災害SNS情報の取得・分析						
	1-2データ分析に基づく防災計画などの策定						
	【防災1-2-1】3Dデータを活用した防災の周知						
市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	2-2 旅行者、外国人向けの防災情報の発信						■災害による被害軽減にむけて、市民一人ひとりに合わせたタイムリーかつ「伝わる」防災情報の発信ができています。 ■高齢者や外国人等も含め、多様な市民へも対応できる情報発信をできています。
	【防災2-2-1】旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信						
	【防災2-2-2】ポータルサイトでの外国人向け情報発信						

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
災害情報共有システムを使用して、災害対応時の情報収集や関連情報の一元把握により、迅速な意思決定や応急対策を実施し、また、市民に「伝わる」防災情報をタイムリーに配信する。	災害情報共有システムをR5.6.1から運用開始したことにより、以下のことが可能となっている。 ・災害時に各部局が対応している被害情報を一元的に把握 ・地区を限定した避難情報の発令 ・防災ポータルサイトで避難情報や避難所情報を一元的に多言語で発信 ・SNSやメール、県を通じたLアラート(報道等)への一括配信による迅速な情報発信

R5年度の事業総括				
	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	○: 予定どおり	各部局が対応している被害情報を迅速に収集でき、画像などで詳細状況も確認できるようになったため、現況をいち早く把握することができるようになった。また、気象・防災情報と地区のレイヤを重ねることで、土砂災害など恐れがある地域を指定して避難指示等を発令できるようになった。	
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	○: 予定どおり	避難情報や避難所に関する市民への情報発信が、防災ポータルサイトで一元的に、多言語で発信できるようになった。また、SNSやメールへも一括で配信できるため、迅速な情報発信が可能となった。	

【R5】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した 危機管理マネジメントの構築

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	情報集約対象のシステム化率	予定			100%	100%	100%	100%	100%	集約対象となる防災関連情報のシステム入力率	災害時の被害情報や気象情報、避難者数など必要な情報をすべてシステムで集約できた
			実績			100%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	情報発信チャンネル数	予定	10	11	11	11	11	11	11	市民及び旅行者、外国人向け情報発信チャンネル数	防災ポータルを作成することで、避難情報や避難所情報を一つの画面で把握ができるようになり、16言語で発信できるようになった
			実績	10	11	11						

【R5】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02《行政経営》 01【窓口】行かなくてもよい&待たない窓口

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	1-1 申請のオンライン化 【窓口1-1-1】全庁的な手続きオンライン化の推進 【窓口1-1-2】自治体オンライン化推進事業 【窓口1-1-3】クルーズ船入港予約システム 1-2 電子申請における事務処理の効率化 【窓口1-2-1】電子申請と庁内システムの連携						■窓口に行く時間がない、行くことが困難といった市民・事業者は対面性を必要としない、全ての手続きをオンラインで行うことができ、窓口には行かなくてもよい。
書かない/待たない窓口の実現	2-1 窓口での手続きに要する時間の削減 【窓口2-1-1】申請書類作成支援システムの導入 2-2 来庁者の分散化 【窓口2-2-2】申請の事前入力や窓口予約の実現 2-3 プッシュ型手続きの実現 【窓口2-3-1】プッシュ型手続きの案内検討						■対面性が必要とされ窓口に行かなくてはならない手続き、窓口で支援を受けたい手続きについては、待合スペースでの申請入力や、来庁者の分散化により最小限の待ち時間でサービスを受けることができる。
相談チャネルの拡充	3-a-1 オンライン相談の拡大 【窓口3-a-1-1】オンライン相談の拡大 3-b-1 相談に係る待ち時間の削減 【窓口3-b-1-1】相談窓口予約						■市民・事業者は各種相談についても市役所に行かなくても、いつでもどこでもサービスを受けることができる。

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
オンラインでできる手続きや相談の拡充を行うことで、利便性の向上を図る。また、窓口での手続きに要する時間を削減するための申請書作成支援システムの効果的な構成や運用方法を検討し、令和6年度中の供用開始に向け準備を進める。	地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続について、ほぼ全ての手続きにてオンライン化ができるようになっている。一方で、オンライン申請の利用率が低いことから、利用を促す広報活動・導線改善等に力を入れる必要がある。また、現状の申請状況等から利用率が低い原因を分析し、出てきた課題に対して対応していく。 「書かない・待たない窓口」の実現に向け、国の窓口BPRアドバイザー派遣事業を活用し、現状の窓口の課題の可視化を行った。令和7年度以降のシステム導入に向け、国の窓口DXSaaSに関する情報収集等、今後のシステム導入の方向性について検討を進めた。 「オンライン相談の拡大」として、オンライン相談窓口は、可能なものから順次実施した。ただ、業務内容により難しい面があり、目標には届いていないことから、今後も周知や対応可能な業務の拡大に努めていく。窓口予約も、市公式LINEの既存機能を活用し、令和6年4月から順次対象業務を拡張しながら運用する。

R5年度の事業総括				
目標		進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	○: 予定どおり	地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続について、ほぼ全ての手続きにてオンライン化ができるようになっている。一方で、オンライン申請の利用率が低いことから、利用を促す広報活動・導線改善等に力を入れる必要がある。また、現状の申請状況等から利用率が低い原因を分析し、出てきた課題に対して対応していく。	
2	書かない／待たない窓口の実現	△: 遅れている	「書かない・待たない窓口」の実現に向け、国が提供する窓口DXSaaSや先進自治体の情報収集を行った。また、現状の窓口運用の問題点を可視化するため、国の窓口BPRアドバイザー派遣事業による窓口利用体験調査を実施した。	窓口利用体験調査を実施した結果、「書かない・待たない窓口」の実現については、全庁的な取り組みとして、窓口BPRやシステム導入を検討することがより効果的であることが明白となったため、国の窓口DXSaaSの動向などを注視しながら、今後の事業の方向性について令和6年度に整理し、令和7年度以降にシステムの導入を実現する。
3	相談チャネルの拡充	○: 予定どおり	「オンライン相談の拡大」として、オンライン相談およびチャットボットによる相談対応について、検討を続けている。 相談窓口については、個別のニーズ・必要性に応じて可能なものから順次実施したが、業務内容により難しい面があり目標には届いていない状況にある。今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努めていく。 窓口予約についても、市公式LINEの既存機能を活用し、令和6年4月から順次対象業務を拡張しながら運用する。	

1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応手続き数	予定	134	510	1,020	1,040	1,060	1,080	1,100	オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定	概ね計画どおり進捗が図れている
			実績	134	521	1,021						
		オンライン申請利用率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数	申請利用率が横ばいとなっており、広報活動・導線改善等により申請率向上に向けた取り組みをしていく
			実績	18.0%	6.6%	6.8%						

2	書かない／待たない窓口の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		申請書作成支援対応手続き数	予定					令和6年度に整理し、改めて設定する			令和6年度に整理し、改めて設定する	令和6年度に整理し、改めて設定する
			実績									
		申請書作成支援対応利用率	予定					令和6年度に整理し、改めて設定する			令和6年度に整理し、改めて設定する	令和6年度に整理し、改めて設定する
			実績									

3	相談チャネルの拡充	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン相談対応業務数	予定			19	20	20	20	20	オンライン相談ができる窓口数	対応可能なものから順次実施したものの、業務内容により対応が難しい面があり目標には届いていない状況である。今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努めていく。
			実績			14						
		窓口予約対応手続き数	予定			2	4	4	4	4	窓口予約対応手続き数（令和5年度より実装、順次拡大）	市公式LINEへの予約機能追加もあり、予定を上回る進捗が図れている。
			実績			4						

02《行政経営》 02【多様化】多様なサービスをもれなく受けられる市役所

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
支払のキャッシュレス対応	1-1 財務会計システム納付書のキャッシュレス化						■市民・事業者は、行政サービスにおける各種支払いについてキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー等）を選択することができる。
	【多様化1-1-1】財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
	1-2 窓口(レジ)のキャッシュレス化						
	【多様化1-2-1】窓口(レジ)のキャッシュレス導入						
	1-3 個別システム納付書のキャッシュレス化						
	【多様化1-3-1】個別システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
デジタルデバイス対応	2-a-1 デジタルデバйд対応						■市民・事業者は、窓口対応や市からの行政サービスの提供において年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受することができる。 ■市民・事業者は地域を問わず、デジタルを活用することができる。
	【多様化2-a-1-1】高齢者・障がい者へのデジタル活用支援						
	2-b-1情報発信の多言語対応						
	【多様化2-b-1-1】広報の多言語対応拡張						
	【多様化2-b-1-2】AI翻訳ソフトの実証と導入						
	2-c-1ネットワーク利用可能施設の拡大						
	【多様化2-c-1-1】市内公共施設へのWi-Fi環境導入と適切な管理・運用						
情報発信の強化	3-1情報発信のデジタル化						■市民・事業者は、市役所が発信する様々な情報を、必要な時に、広報紙やホームページ、各種SNSといった最適な手段で取得することができる。 ■市民・事業者は動画によりわかりやすい情報を得ることができる。
	【多様化3-1-1】広報紙のデジタル化						
	【多様化3-1-2】LINEサービスの拡張						
	3-2利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化						
	【多様化3-2-1】情報発信チャネルの最適化						

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
キャッシュレス化の拡大に向けて、個別システムからの納付書や小規模現金取り扱い窓口への対応を検討する。 コミュニティセンターへ整備したWi-Fi環境を最大限活用して、さらにソフト事業の充実と積極的な取組を進める。 引き続きデジタル化した広報紙の利用浸透を図る。	個別システムから出力する納付書や窓口でのキャッシュレス化については、現時点で対応可能なものについては達成済み。一方で利用率は低いことから、周知等に改善を図っていく。 コミュニティセンターへ整備したWi-Fiについては、利用数も安定して利用されており、様々な情報の受発信を通してデジタル化の推進に寄与する成果が得られた。 外国語自動翻訳サービスをGoogle翻訳へ切り替えたことによって、対応言語数を4言語から133言語へ拡充したことで、外国人がホームページからより情報を得やすい環境を整えた。

R5年度の事業総括			
目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
個別システムから出力する納付書のキャッシュレス化について対応を検討する。 小規模現金取り扱い窓口(指定管理者を含む)のキャッシュレス化について対応を検討する。	○:予定どおり	個別システムから出力する納付書のキャッシュレス化については、現時点で対応可能なものについては達成済み。 今後のシステム標準化とあわせ、令和8年9月開始予定のeLTAXを活用した公金収納へ向けて検討を進める。 小規模現金取り扱い窓口については、させばeコインの活用を含め引き続き検討を進める。	
「高齢者、障がい者等のデジタルデバイド対応」としては、引き続き講習会等の実施とともに、通信事業者が行うものとの連携を模索する。 各コミュニティセンターにおいて令和4年度整備のWi-Fi環境の利用促進を図るとともに、各通信機器の操作やセキュリティ対策等の講座を開設する等、ソフト面の充実を図る。	○:予定どおり	スマホ講習会については、コミュニティセンターでの開催、高齢者向けや障がい者向けで計45回とほぼ前年度と同水準で予定を上回る結果となり、ソフト面でも段階的ではあるがデジタル化推進の取組がなされている。 Wi-Fi利用数は月間約3,000件で、市民の利便性向上に繋がる結果となった。 外国語自動翻訳サービスをGoogle翻訳へ切り替えたことによって、対応言語数が4言語から133言語に拡充したことで外国人がホームページからより情報を得やすい環境を整えた。	
引き続き、デジタル化した広報紙の利用浸透を図る。	○:予定どおり	デジタル広報紙のサービス提供を継続して行った。	

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	支払いのキャッシュレス対応	キャッシュレス決済利用率(財務システム)	予定		5%	6%	7%	8%	9%	10%	キャッシュレス決済利用件数／全決済件数(キャッシュレス決済対応済手続きのみ)	全庁的な通知・広報等で周知するも目標値を下回っている。引き続き全庁通知でのチラシ同封や広報等を行うとともに、チラシデザインの改善を検討する。
			実績		3.9%	4%						
		キャッシュレス決済利用率(窓口)	予定		20%	25%	30%	35%	40%	45%	キャッシュレス決済利用件数／全決済件数(キャッシュレス決済対応済手続きのみ)	全庁的な通知・広報等で周知するも目標値を下回っている。窓口・レジ回りでの掲示に加え、新たに、窓口の電子掲示板での周知や職員や来庁市民向けアンケートを行い、更なる対策を検討する。
			実績		10.2%	12%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	デジタルデバйд対応	情報発信における対応言語数	予定	4	4	4	4	133	133	133	佐世保市の外国人市民の主要言語数(英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語、ベトナム語、フィリピン語) (「令和元年度佐世保市外国人市民アンケート報告書」より)	デジタル版広報紙のサービス提供によって、広報紙については「10言語」に対応。外国語自動翻訳サービスをGoogle翻訳へ切り替えたことによって、対応言語数を4言語から133言語へ拡充した。
			実績	4	4	133						
		デジタル活用セミナー実施回数	予定	21	27	27	27	27	27	27	市が行うデジタル活用セミナーの回数	予定を上回る結果となった。
			実績	30	48	45						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	情報発信の最適化	市ホームページのアクセス数	予定	3,920,000	4,272,800	4,625,600	4,939,200	5,252,800	5,566,400	5,880,000	市ホームページのアクセス数(利用数＝セッション数)	アクセス件数は令和3年度移行ほぼ横ばいで推移。情報更新の充実に努めるとともに、ほかの広報媒体との効果的な連動などによって、ホームページの利用促進を図りたい。
			実績	3,944,938	4,077,432	4,051,623						

02「行政経営」 03【高質化】デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市民・事業者の意見の効果的な活用	1-1 電話対応の品質向上・職員負荷軽減						■市民・事業者からの声を、デジタルを活用することで広く収集し、効果的に施策に反映できるようになる。
	【業務効率化1-1-1】電話の自動応答、録音による問い合わせ業務の向上						
	1-2 市民の声収集・活用の活性化						
	【業務効率化1-2-1】広聴制度の見直し						
事務作業の削減・省力化	2-a-1 デジタルツール活用による業務の自動化						■事務作業は可能な限りAIやロボットにより自動化され、職員の業務から削減される。 ■デジタルツールにより決裁等の時間や手間のかかる業務をサポートすることで、職員はよりスピーディに業務を遂行することができる。
	【業務効率化2-a-1-1】RPAの導入と活用						
	【業務効率化2-a-1-2】AI-OCRの導入と活用						
	【業務効率化2-a-1-3】ローコードツールの活用						
	【業務効率化2-a-1-4】文字起こしAIによる議事録の自動化						
	【業務効率化2-a-1-5】業務手順書作成によるBPRの推進						
	2-b-1 内部事務のデジタル化						
	【業務効率化2-b-1-1】電子決裁・文書管理システム						
	【業務効率化2-b-1-2】庶務事務システム						
様々なデータを活用した業務の高度化	3-1 データ利活用環境の整備						■庁内の様々なデータを利活用し、課題解決や業務に活かすことにより、職員の業務は更に高度化することができる。
	【業務効率化3-1-1】BIツール等を用いたデータの見える化						
	【業務効率化3-1-2】地理情報システム管理事業						
	【業務効率化3-1-3】データ共有プラットフォーム						
	3-2 庁内情報管理の高度化						
	【業務効率化3-2-1】AI等先進技術の活用研究						
	【業務効率化3-2-2】庁内情報の整理と配置の見直し						

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
スマートプロジェクトにより引き続きRPAやAI-OCRの全庁的な活用を推進するとともに、業務手順書作成支援システムを活用することでBPRや業務の効率化を図る。 併せて、データの見える化を通して、より高度な行政施策の策定・実施に繋げる。 また、電話システムについては、「オフィス改革の推進」の方針に基づき、全庁的な在り方を検討し、令和6年度システム構築に向けた検討を進める。	行財政改革推進局の「オフィス改革の推進」に関する市の方針や、環境部等の出先における電話設備の更新等の問題を含めて、新たな電話システムについて、R7年度分導入に向けた検討を進めた。 広聴制度の見直しについては、R5年度実施のアンケートを含め市民の声の効果的活用を継続して研究した。 スマートプロジェクトによるRPAやAIにて作業時間の削減を進めることができた。 BIツール等により、データ利活用を行った。

R5年度の事業総括			
目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
PBXのリプレイスに併せて、行財政改革推進局の「オフィス改革の推進」に関する市の方針や、環境部等の出先における電話設備の更新等の問題を含めて、新たな電話システムの導入案を作成し、R6年度分導入に向けた検討を進める。	△:遅れている	PBX(電話交換機設備)のリプレイスに併せて、行財政改革推進局の「オフィス改革の推進」に関する市の方針や、環境部等の出先における電話設備の更新等の問題を含めて、新たな電話システムについて、R7年度分導入に向けた検討を進めた。 広聴制度の見直しについては、R5年度実施のアンケートを含め市民の声の効果的活用を継続して研究した。	「電話の品質向上・職員負荷軽減」の達成には遅れは生じているが、全庁的な電話の在り方を構築することで、到達像の達成の効果を上げることができる。
基幹システムの標準化に係る業務等の業務手順書の作成結果の業務分析により、専門性不要な作業時間数が多い業務にターゲットを絞りRPA、AI等のデジタルツールの利用拡大を推進する。 また、新たに導入する業務手順書作成システムにより、各部署における自主的な業務手順の見直しによるBPRを推進する。	○:予定どおり	RPAにて合計4020.4時間、文字起こしAIにて1543件、時間に換算して2690.6時間の効率化を図ることができた。 業務手順書作成システムにより、業務手順の見える化を行い、基幹システムのための業務見直しに活用した。	
「データ利活用環境の整備」として、BIツールの実証をするとともに、長崎県データ連携基盤へ流通させるデータのメンテナンスを行い、活用について研究をしていく。	○:予定どおり	BIツール:BIツールの研究を行い、全庁展開に向けて準備した。 データ連携基盤:継続して利用しており、住民ポータルの構築においてデータ連携基盤を活用することが可能か等の研究を行った。	

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	市民・事業者の意見の効果的な活用	電話の自動応答業務数	予定					3	3	3	業務繁忙期がある以下3業務に自動応答を活用する。①税の納付書発送、②税の申告、③住民異動	「オフィス改革の推進」の方針に基づき全庁的な電話の在り方を検討中
			実績									
		広聴システムでの満足度	予定	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	広聴システムからの回答についての大変満足・満足の割合（アンケート等による）	現システムにおける市民の声への対応満足度はほぼ横ばいである。R5年度実施のアンケートを含め市民の声の効果的活用を継続して研究中
			実績	80.2%	83.6%	82.5%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	事務作業の削減・省力化	RPA等による削減効果時間	予定	2,500.0	2,800.0	3,000.0	3,200.0	3,400.0	3,600.0	3,800.0	(RPA1件における平均効率化時間 50h × 利用件数 音声文字起こし AI の年間効率化時間 1,200h)	計画通りの進捗が図れている。
			実績	7,055.8	5,273.2	7,089.3						
		電子決裁率	予定		100%	100%	100%	100%	100%	100%	決裁の基本ルールとして100%電子決裁とするため(例外は除く)	計画通りの進捗が図れている。
			実績		100%	100%						

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	様々なデータを活用した業務の高度化	データの見える化対応業務数	予定			6	12	18	24	30	①オープンデータ⇒Tableauによるダッシュボード作成:3件/年 ②庁内データ⇒Power BIによるダッシュボード作成:3件/年	計画通りの進捗が図れている。
			実績			6						

02「行政経営」 04【職場環境】職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
時間・場所にと られないス マートワーク環 境	1-a-1 リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証						■職員は自身の働き方や業務内容に応じて、働く場所を選択することができる。 ■職員は庁内においても場所にとらわれず効率的に業務を遂行することができる。 ■市民や事業者とも対面にとらわれず、効率的に情報発信やコミュニケーションをとることができる。 ■アイデア創出のための組織横断的なコラボレーションができる。 ■自治体情報システムやICTインフラはより効率的かつ利便性の高いものとなる。
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(端末整備)※毎年度拡大						
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(ネットワーク整備)						
					1-a-2 リモートワークに適した環境リプレースの推進		
					【職場1-a-2-1】PC台数、スペック、運用の見直し		
	1-b-1 オンラインコミュニケーションの環境整備・実証						
	【職場環境1-b-1-1】オンライン共有環境や運用の見直しと拡大						
	【職場環境1-b-1-2】研修・説明会・視察のオンライン化						
					1-b-2 情報共有環境の見直し		
					【職場環境1-b-2-1】情報共有環境の見直し		
					【職場環境1-b-2-2】スマートワークの環境整備(クラウド環境)		
					1-b-3 印刷環境の見直し		
					【職場環境1-b-3-1】複合機・プリンタ配置見直し		
自治体情報シ ステムの標準化	1-c-1 スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸・見直し						■国の指針に則り、自治体情報システムは標準化・共通化されている。
	【職場環境1-c-1-1】スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査						
	1-c-2 スマートワークに適した働き方の見直し						
	【職場環境1-c-2-1】働き方見直し検討						
	1-d-1 強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施						
	【職場環境1-d-1-1】強靱で利便性の高いセキュリティ対策の実施						
			2-2-1 基幹システム標準化対応				
			【職場環境2-2-1】基幹システムの標準化				

R5年度の目標(総括)	R5年度の実績・評価(総括)
佐世保市役所DXの根幹となる職員端末等の環境整備(スマートワーク環境の実現)を早期に整備することを目的に、ネットワークの構築・モバイル端末の一部導入を進めることに併せて、令和6年度のプリンタの配備見直しの検討を進める。 また、システム標準化については、基幹システムの標準化に向け、令和6年度導入に向けた検討を進める。	スマートワーク環境については、一部部署に可搬性のあるモバイルパソコンを展開するとともに、一部フロアにWi-Fi環境を整備した。 システム標準化については、令和7年度の更新のため、令和6年度から各業務システム移行に対応するベンダーと契約するための情報収集、検討が一定終わり、各システムともに移行方針、スケジュールが定まった。 スマートワークについては、令和6年度以降のスマートワーク環境構築にかかる内容等の検討を進め、令和6年度当初に実施する公募型プロポーザル方式にかかる準備を整えた。

R5年度の事業総括				
	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	時間・場所にとられないスマートワーク環境	○: 予定どおり	本庁舎9階(土木部)、6階(財務部、総務部)など一部部署に可搬性のあるモバイルパソコンを展開するとともに、一部フロアにWi-Fi環境を整備した。	
2	自治体情報システムの標準・共通化	○: 予定どおり	令和7年度の更新のため、令和6年度から各業務システム移行に対応するベンダーと契約するための情報収集、検討が一定終わり、各システムともに移行方針、スケジュールが定まった。	

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	時間・場所にとられないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの利用率	予定	50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%	オンラインコミュニケーション利用職員数／利用可能職員数	予定を上回る結果となった。
			実績	60.3%	84.4%	92.6%						
		ペーパーレス度(令和3年度印刷枚数数量との比較)	予定	100.0%	100.0%	85.0%	85.0%	65.0%	45.0%	30.0%	各年度のA4用紙購入枚数／令和3年度のA4用紙購入枚数	予定を上回る結果となった。
			実績	100.0%	95.1%	81.7%						
		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	自治体情報システムの標準・共通化	標準化対応基幹システム数	予定					20	20	20	国の自治体システム標準化に関する方針に基づき設定(標準化した業務数)	令和7年度の目標値達成に向け、取り組んでいる。
			実績									

040 プロジェクト一覧

【凡例】○⇒…

構築運用検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度							
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-4	コンベンション協会業務デジタル化等事業	データ分析のためのタブレット端末やクラウド環境、モバイルルーターの整備を実施します。		業務観光整備件数			1	1	1	1	1		1		1		1		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-6	人流データを活用した行動分析	位置情報のビッグデータをもとに、観光客の行動を分析し、観光キャンペーンやルートの立案などを実施します。	○	データマイニング件数			1	2	3	5	5		5		5		5		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-7	SNSデータのAI分析による観光計画	SNS上の観光客のリアルな声を把握・分析し、観光コンテンツの評価や計画立案を実施します。	○	データマイニング件数					3	5	5		5		5		5			○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-1	データ共有プラットフォーム	観光に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		ダッシュボードの作成件数					6	13	12		18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-2	データ分析による需要予測	データ共有プラットフォーム上のデータを分析し、観光に関する需要予測を実現します。		データ活用による事業立案数					5	5	6		7		8		8		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	事業者と連携した地域の観光力強化	観光1-3-1	事業者等との情報共有（データ共有プラットフォームと同様）	データ共有プラットフォーム上にデータ連携機能を設けることで、事業者との情報共有を実現します。		民間事業者へのオープンデータ提示数					3	5	5		7		7		7		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-2	デジタルパンフレット	スマホやタブレットを活用した観光情報の収集ニーズに対応し、デジタルパンフレットの制作を実施します。		閲覧回数			1,850	-	8,870	-	10,600		12,800		15,400		18,500		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-3	プロモーション動画を起点とした呼び込み	プロモーション動画を広告配信し、ホームページに誘導することで、観光地としての認知の向上を図ります。		ホームページへの遷移数(/年)	3,920	150	4,273	702	4,626	2,088	4,939		5,253		5,566		5,880		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-4	デジタルマップの活用	観光マップをデジタル化することで、観光客が現在地や観光スポットをスマホで確認しながら周遊することを実現します。		観光ルートのアクセス/利用者数	25,000	55,584	27,500	151,246	30,000	160,116	33,000		36,000		39,600		43,500		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-5	各種商品券の電子化	各種商品券を電子で発行することにより発行・管理業務の負荷やコストを軽減しながら、加盟店や利用者の拡大を実現します。		アプリダウンロード数					15,000	46,061	19,500		25,400		33,000		42,900		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	新たな技術を活用したプロモーションの推進	観光2-2-1	デジタルトラベルガイドの導入	デジタル技術を活用したトラベルガイド提供することで、観光資源の充実を図ります。		トラベルガイドのユニークユーザ件数							9,000		9,000		9,000		9,000		…	…	…	…	…	…					

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	メタ観光ニーズへの対応	観光3-a-2-1	AIを活用したメタ観光ルートの提供	AIの活用により、観光客の嗜好や希望条件に合わせた観光プランを提供し、多層的な観光体験(メタ観光)の提供を実現します。	○	モデルコースデータベース							30		60		90		90		...	...	○	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	周遊観光の促進・最適な移動手段情報の提供	観光3-b-2-1	周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供	位置情報から目的地までの最適なルートを導出し、各種交通・観光チケットの購入、決済までをスマホアプリ上でシームレスに実施できる環境を実現します。		モデルコースデータベース							30		60		90		90		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-2-3	旅行者オンライン購買データ解析による未来予測	プロモーション実施後、実際に着地に至ったかの検証を実施。基礎的データとしてオンラインでの宿泊予約状況、フライト予約情報などの推測値をもとに先行指標の計測も実施する。		データマイニング件数							1		3		5		7				...	...	...	...			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	担い手の確保・継続・育成	新たな担い手の参入促進	農水1-1-1	担当者等によるオンライン相談や回答サービス	新規就農者がLINEで写真や映像を共有しながら指導員に相談でき、また、農家向けSNSなどでコミュニティへの相談もできる環境を実現します。		サービス利用率															...	...	...	...	...	...			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	担い手の確保・継続・育成	新たな担い手の参入促進	農水1-1-2	新規参入マッチングサービス	農地を貸したい人と借りたい人のマッチングが農地中間管理機構を通さずに、システム上で実現します。		サービス利用率															...	...	...	...	...	...			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	担い手の確保・継続・育成	担い手の定着に向けたコミュニティ交流の強化	農水1-2/3-1	デジタルを活用したコミュニティ交流の強化	農家向けSNSを利用し、農作業等に関する疑問解消やコミュニティ交流の強化を実現します。		参加者数															...	...	...	...	...	...			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-1	IoTを活用したスマート畜産	牛の発情兆候をIoTセンサでスマート化し、生産者グループまた関係機関でデータ共有し生産性の向上を図ります。		活用率							2		4		6		9		...	...	○	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-2	農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援)	IoT機器により生育のコントロールを行うことで適切な生育環境を作り出し単収の向上を図ります。		IoTを活用した農家数	5	5	18	18	28	22	44		62		82		102		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-3	農薬散布用ドローン等	農薬をドローンで散布することで作業の効率化、省力化を図ります。		活用拠点数															...	...	...	...	...	○			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-1	IoTを駆使した給餌管理	IoTを活用し、遠隔から水槽の水温等の管理や給餌量の確認、異常の検知を実施します。		活用拠点数					1	3	0		6		9		12			○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-2	AI活用による漁獲量向上	ベテラン漁業者の経験や技術、勘をデータ化し、蓄積・活用することで、常に最適な漁場に関する情報提供を実現します。		活用拠点数						3	0	3		3		3		3		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-3	データ活用による漁獲量予測	海洋データや気象データ等を一元的に集約・活用することで、常に最適な漁場に関する情報提供が可能になり、漁獲高等の事前予測を行います。		活用拠点数						3	0	3		3		3		3		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	データに基づいた需要予測	農水2-a-3-1	生産者への情報共有のデジタル化	農林水産業における営農記録やJA等からの生産者への情報発信をデジタル化し、情報共有を図るもの。		参加者数								5		10		15		20				○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	新たな販路の拡大	農水2-b-1/2-1	生産物の強み可視化によるブランディングの強化	生産物の栄養素等を分析することにより、生産物が持つ強みを可視化し、ブランディング強化を実現します。		販路拡大数															...	...	...	...	...	...			

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	新たな販路の拡大	農水2-b-1/2-2	オンラインによる直売	オンライン上で生産者が農水産物を消費者に直接販売できるサービスを実現します。		参加者数							14		15		16		17				○	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-1-1	有害鳥獣被害防止対策	害獣をセンサーで検知し、基地局・中継局を通じて利用者等にメール等で通知することを実現します。	○	研究開発に係る協議回数(/年)	5	5	10	5	10	10	10		10		10		10		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-a-1/2-2	赤潮監視対策事業	テレメーターによりセンシング及び採水を行い、AIにて分析を行うことで、赤潮発生の予兆を検知し、利用者へメールなどで通知することを実現します。	○	赤潮監視装置の拠点数			1	1	1	1	4		4		4		4		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上	子ども1-a-1-1	オンライン対応可能な手続申請	オンラインで申請で実施できる申請を拡充します。		手続き数	16	19	77	84	93	98	93		97		99		99		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する情報発信の強化	子ども1-b-1-1	プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充	市が保有するデータを活用し、子育て世帯向けに子育てに関する情報や必要な手続きなどをプッシュ通知でのお知らせを実施します。	○	新規登録率	50.0%	78.0%	53.0%	46.2%	57.0%	100.0%	60.0%		63.0%		67.0%		70.0%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化	子ども1-2-1	オンライン申請利用率の向上	妊娠・出産・育児等に係る申請等についてマイナポータル等を活用し、オンラインによる申請手続き率を向上します。		申請利用率	10.0%	12.1%	20.0%	14.0%	30.0%	29.9%	35.0%		40.0%		45.0%		50.0%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-2	オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)	母子健康手帳交付、訪問相談などの相談をオンラインで対応可能な環境を実現します。		相談対応事業数	1	1	2	2	3	3	4		4		4		4		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-3	地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携	地域の子育て関連機関とのやりとりや資料共有などオンラインで対応可能な環境を実現します。	○	連携施設数					50	73	73		73		73		73		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	子育て支援に必要なデータの取得・分析	子ども2-2-1	子育て関連情報の一元管理	子育てに関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		データ活用を行う業務数															...	...	...	...	...	...			
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応	子ども2-3-1	AIデータ分析による業務活用	子育てに関する様々なデータを分析し、AIによるリスク検知を行うことで、ケースのリスクアセスメントや支援プランの作成を実現します。	○	データ活用を行う業務数															...	...	...	...	...	...			
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	モラル教育及びセキュリティの充実	教育1-a-1-1	フィルタリングソフトの導入	児童生徒をインターネットトラブルや有害サイトから守り、安心してITを利用できる環境を実現します。		ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	教員の学びの知見の共有化	教育1-b-1/2-1	学校教育ネットワーク強化事業	通信環境の強化により、児童生徒が快適にITを利用できる環境を実現します。		ハード・ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	個別に最適化された学びの実現	教育1-c-1	AIドリルの導入	児童生徒の解答をAIが分析し、次に取り組むべき問題を自動で出題するなど、個々の習熟度に応じた学習を実施します。		導入学校数																			○	⇒	⇒		
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	校務の効率化支援	教育2-1-1	統合型校務支援システムの導入	統合型校務支援システムの導入により校務の効率化を実現します。		システム導入率			100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	保護者とのコミュニケーションの基盤の整備	教育3-1-1	学校・家庭間連絡システムの導入	学校から保護者への連絡や保護者から学校への連絡をシステム化します。	○	活用学校数			0%	50%	70%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要なとなる人流情報の把握	都市1-1-1	(まちなかウォークアブル推進、データ使用料)人流データの把握	携帯電話のローミング情報をもとに国内居住者や訪日外国人の人口分布や動態の把握を図ります。		取得データ種別数					1	2	2		2		2		2				○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要なとなる施設情報の把握	都市1-1-4	空き家推定ツール開発共同研究事業	空き家の状況把握や定期的な実態確認を実施します。		確認建物数%					(株)ゼンリンとの協議継続中	(株)ゼンリンとの協議継続中	100%		100%		100%		100%			...	○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	SNSを活用した公共施設の情報取得と解析	都市1-2-2	SNSを活用した公園管理	SNSにより、公園の遊具や植物の状況(老朽状態や育成状況など)について市民からの情報取得を実施します。		導入公園率(%)					100%	100%	100%		100%		100%		100%				○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルの活用	都市2-1/2/3-1	3D都市モデル構築業務	建物の高さや構造種別などを立体的に把握し、3Dでの都市の状況表示を実現します。	○	市民対応での活用率			0%	0%	14.0%	14.0%	28.0%		42.0%		56.0%		70.0%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルを活用した計画策定の高度化	都市2-2-1	3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化	3D都市モデルを作成することで、災害リスクの検討や人流・物流のシミュレーションを行い、より高度な居住計画に資する情報の分析を実現します。		ダッシュボードの作成件数					6	6	12		18		24		30				○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	データ一元化による土地利活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	まちづくり計画に必要なデータの一元管理	都市3-1-1	データ共有プラットフォーム	都市整備に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		統合するデータ種別数					5	5	6		7		8		9			...	○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	ドローンの3D測量等多目的活用の実施	土木1-a-1/2/3-1	ドローンの多目的活用の推進	インフラ施設や災害現場の全体像の把握や写真・動画の撮影、関係部署との共有、市民への情報発信などドローンの多目的活用を実施します。		ドローン多目的利用数			3	3	4	4	5		6		8		10			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-1	道路冠水状況モニタリングシステム	モニタリング(カメラ・センサ)により、市道等の冠水状況の把握を行います。また、冠水浸水予測システム構築に向けたデータ収集を実施します。	○	モニタリング箇所数					9	9	9		9		9		9		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-2	河川モニタリングシステム	ライブカメラやセンサー等により、リアルタイムな河川の状況把握を実施します。	○	モニタリング箇所数			4	4	8	8	8		8		8		8		8		○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-3	ウェアラブルカメラの活用	ウェアラブルカメラを活用し、現場と本庁で画像、映像を共有し、本庁側での現場のリアルタイムな状況確認を実現します。		ウェアラブルカメラ利用時間(h)			200	50	280	260	360		440		520		600		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-4	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールの動画活用システム	道路パトロールのICT化データ(路面評価)と、動画データとのダブルチェックによる損傷確認や、路面以外の道路周辺の映像確認等を実施します。	○	道路パトロール利用率			75.0%	75.0%	77.5%	77.5%	80.0%		82.5%		85.0%		90.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-1	冠水・浸水予測システム	道路・河川モニタリングシステムによって集積されたデータをAI技術等により分析し、水位予測モデルの作成を実施します。	○	冠水・浸水箇所の分析箇所数										2		4		...	...	...	...	○	⇒					
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-2	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールデータのAI分析	道路パトロールの動画活用システムなどで蓄積された画像データをAIにより分析し、舗装損傷箇所の自動検出を実現します。		道路パトロールデータ分析率			75.0%	36.5%	77.5%	77.5%	80.0%		82.5%		85.0%		90.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-3	WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報	スマホの写真撮影機能と位置情報計測システム(GPS)機能を活用し、市民が道路損傷等をWEBアプリケーション等で市へ通報することを実現します。		WEBアプリケーション等による通報件数					630	70	660		690		720		760		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	情報分析に基づくインフラ管理の高度化	土木1-b-3/2-3-1	データ共有プラットフォームによるデータ管理	土木に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		データ種別数									1		2		3				○	⇒	⇒	⇒				

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	インフラ情報のリアルタイム発信	市民へのインフラ情報のリアルタイム発信	土木3-1/2-1	ホームページ等による情報のリアルタイム発信	ライブカメラの映像等をホームページ等でのリアルタイム発信を実現します。		リアルタイム発信のチャンネル数					0	0	2		4		6		8		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上	保福1-a-1-3	オンライン相談	介護・医療などの相談をスマホやパソコンからオンラインで実施可能な環境を実現します。		オンライン相談窓口数					15	10	15		15		15		15		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉に関する情報発信の強化	保福1-a-2-2	ナッジ理論を活用した健診の推奨	長崎県が実施する「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」に参加し、受診勧奨を行う。		通知勧奨実施回数					1	2	2		2						...	○	⇒	⇒						
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-1	訪問調査におけるタブレット活用	生活保護業務の訪問調査において、タブレットを活用して資料説明や情報入力を実施します。		タブレット置き換え数									1		1		1			...	...	...	...	...				
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-2	電子審査会の推進	介護認定審査会をオンライン開催し、場所にとられない会議を実現します。		予定しているWEB会議の開催率				100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-2-2	AI-OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化	受領した書類の入力作業をRPAやAI等に行わせ、職員はエラーチェックや確認作業のみを行うことで負担軽減を図るもの。	○	活用数								2		2		2		2		...	...	○	⇒	⇒				
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-1	災害情報共有システム導入	災害時の各部局の被害情報を、災害対策本部でリアルタイムに集約し、一元管理できる環境を実現します。	○	情報集約対象のシステム化率				0%	0%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	○	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-2	対災害SNS情報の取得・分析	SNSの投稿内容を分析し、指定エリアの被災状況やリスク情報のリアルタイムな可視化を実現します。		分析結果活用率				100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	データ分析に基づく防災計画などの策定	防災1-2-1	3Dデータを活用した防災の周知	防災に対する意識向上を図るため、3Dデータを活用したシミュレーション動画の配信を実施します。		活用率（利用者数）					100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-1	旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信	自然災害時において、旅行者がより正確な情報収集を可能にできる環境を実現します。		防災アプリによる情報発信率					100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-2	ポータルサイトでの外国人向け情報発信	市民ポータルサイトでの多言語配信により、外国人に合わせた情報発信を実施します。		多言語による情報発信率					100%	100%	100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化	窓口1-1-1	（オンライン申請推進事業）全庁的な手続きオンライン化の推進	汎用電子申請システムやびったりサービスを利用し、庁内の手続きをオンライン化します。	○	オンライン対応手続き数	134	134	510	521	1,020	1,021	1,040		1,060		1,080		1,100		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化	窓口1-1-2	（オンライン申請推進事業）自治体オンライン化推進事業	国が提供するびったりサービスと自治体が管理する基幹系システム（マイナンバー利用系）をオンライン接続できるようにします。	○	オンライン対応手続き数	134	134	510	521	1,020	1,021	1,040		1,060		1,080		1,100		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
										項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				名称	名称	PID	名称	概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
行政経営	窓口	港湾部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化	窓口1-1-3	クルーズ船入港予約システム構築	オンラインシステムによるリアルタイムでの予約状況の見える化により、クルーズ受入体制を強化します。		クルーズ客船による乗降人員数			1,566,000	2,747	1,686,000	62,258	1,806,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-2	LINEサービスの拡張	現在も取組を行っているLINEによる情報発信について、対象サービスを拡張し、より幅広い情報発信を行います。		対応業務数	9	9	11	9	13	8	15		15		15		15		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化	多様化3-2-1	情報発信チャネルの最適化	Yotube、Twitter、Instagramといった各種情報発信チャネルについて、より市民が活用できるようアクセス数分析し、集約等の最適化を行います。		チャネルごとのアクセス数															…	…	○	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	財務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	市民・事業者の意見の効果的な活用	電話対応の品質向上・職員負担軽減	業務効率化1-1-1	電話の自動応答、録音による問合せ業務の向上	電話の自動応答・録音により、電話問合せにおける職員の負担軽減を行うとともに、対応の均一化や改善検討といった品質向上を図ります。		電話の自動応答を利用した業務数															…	…	…	○	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	市民・事業者の意見の効果的な活用	市民の声収集・活用の活性化	業務効率化1-2-1	広聴制度の見直し	現状の広聴システムにおいてSNSのコメント収集や、より分析しやすくするためのデータ形式や入力方法といった見直しを行います。		広聴システム満足度	100%	80.2%	100%	83.6%	100%	82.5%	100%		100%		100%		100%		100%	…	…	…	○	⇒	⇒			
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-1	(先進的ICT技術活用推進事業)RPAの導入と活用	RPAを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	利用件数	25	32	32	38	35	44	38		41		44		47		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-2	(先進的ICT技術活用推進事業)AI-OCRの導入と活用	AI-OCRを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	処理帳票種類	0	0	20	19	24	27	28		32		36		39		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-3	(先進的ICT技術活用企画費)ローコードツールの活用	ローコードツールを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。		アプリケーション開発件数	1	0	3	1	6	1	9		12		15		18		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-4	(先進的ICT技術活用推進事業)文字起こしAIによる議事録の自動化	既に取組を行っている文字起こしAIによる議事録の自動化について活用を促進します。	○	処理件数(累計)	800	925	1,700	1,852	2,600	3,395	3,500		4,400		5,300		6,200		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-a-1-5	電子決裁・文書管理システム	文書管理システムを導入し、庁内における決裁を電子化することで業務の高速化を図ります。		電子決裁率	0%	0%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-b-1-2	庶務事務システムの再構築	庶務事務システムの再構築により、勤怠入力や休暇申請といった業務をデジタル化します。		庶務業務のデジタル化件数	0	0	1,200	0	17,700	21,466	17,700		17,700		17,700		17,700		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-1	BIツール等を用いたデータの見える化	時間のかかるデータ分析について、BIツールを用いることによりデータ活用の効率化ができるか実証の上構築を行います。		ダッシュボードの作成件数	0	0	0	0	6	6	12		18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-2	DX企画推進事業(長崎県データ連携基盤)	行政・民間が保有する地域内外の様々な情報(主に統計情報等)を収集、分析、利活用を容易にする、データ連携基盤を利活用し、地域課題解決等の施策立案を効率化、高度化します。		本市データをシステム連携し利用した回数	0	0	1,000	1,595	1,200	1,607	1,400		1,600		1,800		2,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-3	データ共有プラットフォーム			ダッシュボードの作成件数					6	6	12		18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	庁内情報管理の高度化	業務効率化3-2-1	庁内情報の整理と配置の見直し	FAQ、グループウェア、ファイルサーバ、例規システムに格納されているデータについて職員が検索しやすいようデータの整理を行います。		対応業務数 ※整理・移行を実施した業務															…	…	○							

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度						
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
行政経営	高質化	行財政改革推進局	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-6	業務手順書作成によるBPRの推進	業務手順書作成システムを導入し、全庁的に業務手順書を作成することで、その分析結果からRPAを導入するなどのBPRを行います。		手順書作成数	0	0	0	0	25	26	378		378		378		378		378		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適した環境リブレース推進	職場環境1-a-2-1	PCの台数、スペック、運用の見直し	リモートワーク等の働き方に合わせて、次期調達のPCのスペックや台数を見直します。		PC配布数																			...	○				
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証	職場環境1-b-1-1	オンライン共有環境や運用の見直しと拡大(庁内外の連絡のオンライン化)	既に取組を行っているオンライン会議について、より活用を拡大するため、会議室等の設備の見直しや、運用の見直しを行います。		オンラインコミュニケーションの利用率	50%	60%	55%	84.4%	60%	92.6%	80%		90%		100%		100%		100%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証	職場環境1-b-1-2	研修・説明会・視察のオンライン化	既に取組を行っているオンライン会議について、研修・説明会・視察にも活用することでオンラインのコミュニケーションの幅を広げます。		研修等におけるオンライン出席率																	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	情報共有環境の見直し	職場環境1-b-2-1	情報共有環境の見直し	メール、掲示板、スケジュール管理等についてより活用しやすいようグループウェアの見直しを行います。		標準化業務数	0	0	0	0	0	0	1		17		17		17		17				...	○	⇒	⇒		
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	印刷環境の見直し検討	職場環境1-b-3-1	複合機・プリンタの配置見直し	ペーパーレス化と合わせて、プリンタの数を削減するとともにどこでも印刷ができるようオンデマンドプリントを導入します。		プリンタ設置数					143	141	141											○	○	○	⇒	⇒		
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸	職場環境1-c-1-1	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備に合わせて、スマートワークの実現に向けた職員の働き方に関する課題(スマートワークが実現できない業務、職員の意識等)の棚卸を行います。		-				実施済	実施済	実施済	実施済		実施済		実施済		実施済		実施済		○							
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに適した働き方に関する課題の見直し	職場環境1-c-2-1	スマートワークに適した働き方に関する課題の見直し検討	棚卸した課題に対する対応方針を検討し、職員の意識改革や職務内容を見直し等を行います。		-				実施済	実施済	実施済	実施済		実施済		実施済		実施済		実施済		○							
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	セキュリティの強化	職場環境1-d-1-1	(庁内情報化基盤管理事業)強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施	国が示すセキュリティ対策に従い実施します。	○	-																	...	...	...	...	...	...		
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	自治体情報システムの標準・共通化	基幹システムの標準化対応	職場環境2-2-1	基幹システムの標準化	国が示すシステム標準化の指針に従い、基幹システムの標準化対応を行います。	○	対応システム数	0	0	0	0	0	0			20		20		20		20		...	...	○	○	⇒	⇒		
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証	職場環境1-a-1-1 職場環境1-b-2-2	(庁内情報化基盤管理事業)スマートワーク環境の整備	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備し、自宅等の庁外で業務ができる環境を構築します。あわせて、本庁舎にあるサーバをクラウド環境に移行します。	○	リモートワーク利用人数	10	29	108	14	108	26	108		108		108		108		108		○	○	○	○	⇒	⇒		
行政経営	推進課題	総務部	推進課題			推進1	ドローンの活用推進			ドローンシェア利用回数	0	0	0	0	19	5	40		40		40		40		40			○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	推進課題	総務部	推進課題			推進2	生成AIの業務活用			職員利用率							80		320		720		1280		1280				○	⇒	⇒	⇒		
行政経営	その他	総務部	3つのしかけ			仕掛け1	CDO補佐官・DXコーディネータと連携したDX推進	CDOを補佐するCDO補佐官や、DXについて特定の部局のアドバイザーであるDXコーディネータを任用することにより、市役所のDXを強力に推進します。		CDO補佐官との協議回数	0	0	10	10	20	51	20		20		20		20		20		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
						110	リーディングプロジェクト数	27																										